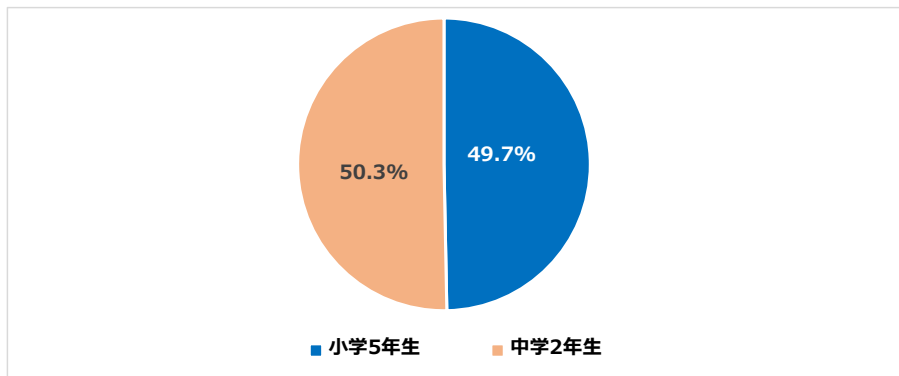


宮津市 子どもの生活状況アンケート

区分	実施期間	配布数	回収数	回答率
小学5年生の保護者	R3.7.9～R3.7.16	125	80	64%
中学2年生の保護者		113	81	72%
全体		238	161	68%

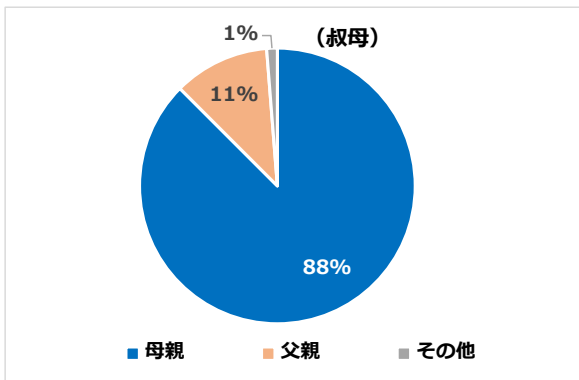
対象	調査方法
小学5年生・中学2年生の保護者	●各学校から子どもが自宅アンケート調査票を持ち帰り、自宅でアンケートに回答し、返信用封筒により郵送で提出

問1 お子さんの学年について【全体】 【小5】 (n=80) 【中2】 (n=81)

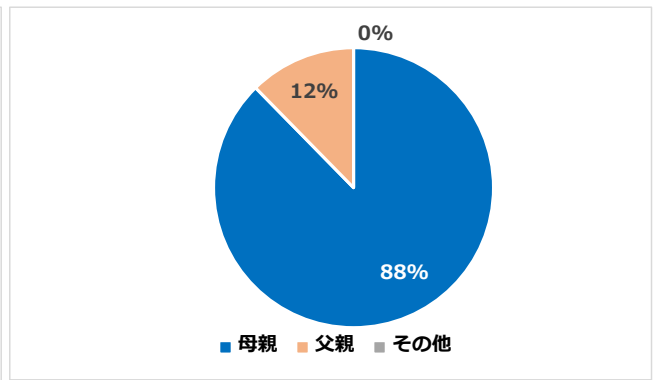


問2 あなたの、お子さんからみた続柄について

【小5】 (n=80)



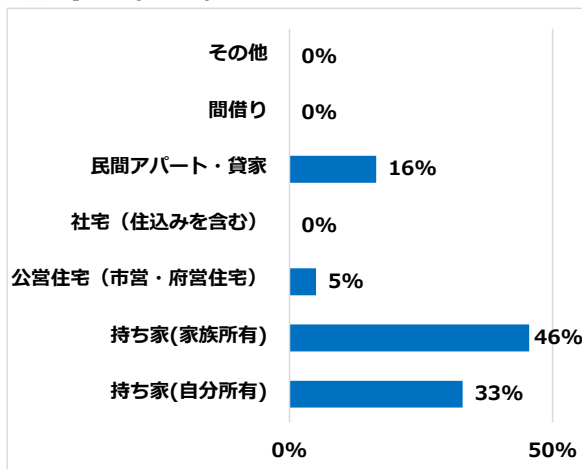
【中2】 (n=81)



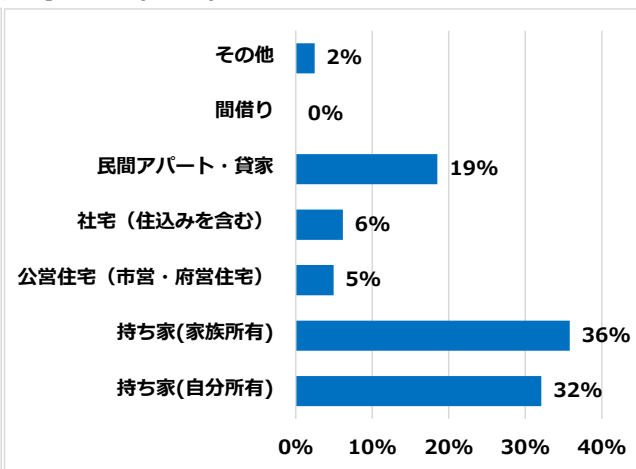
【問2結果】 小学5年生・中学2年生保護者ともにアンケート回答者は、それぞれ88%と母親が最も高い結果であった。

問3 現在のお住まいについて

【小5】 (n=79)



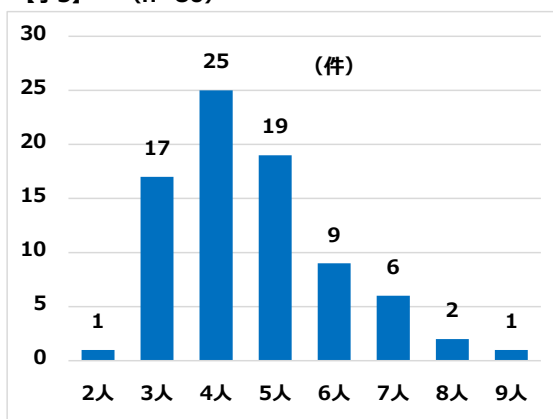
【中2】 (n=81)



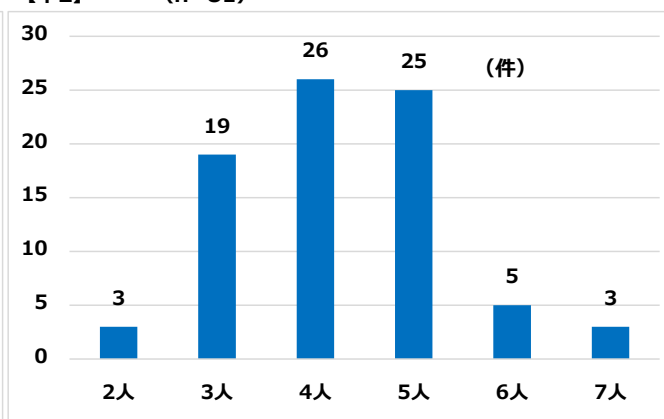
【問3結果】小学5年生・中学2年生保護者ともに、住まいの内訳では、持ち家（家族所有）・持ち家（自分所有）を合わせると約7割となった。次いで、民間アパート・貸家、公営住宅（市営・府営）であった。

問4 生計を共にしているご家族（単身赴任のご家族も含む）は、あなたを含めて全員で何人ですか。家族の人数をお答えください。

【小5】 (n=80)



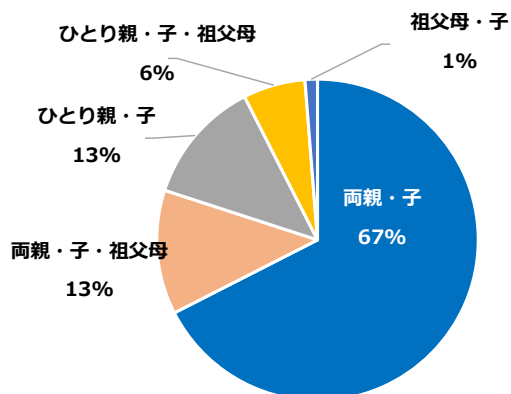
【中2】 (n=81)



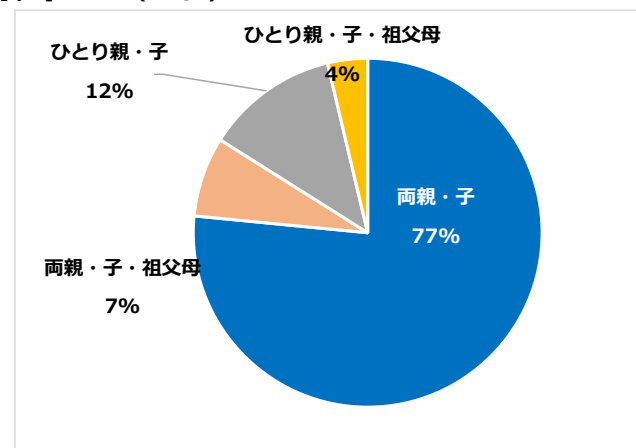
【問4結果】小学5年生・中学2年生保護者ともに「4人家族」が最も多く、次いで「5人家族」、次いで「3人家族」となった。

問4-1 生計を共にしているご家族（単身赴任のご家族も含む）について

【小5】 (n=80)



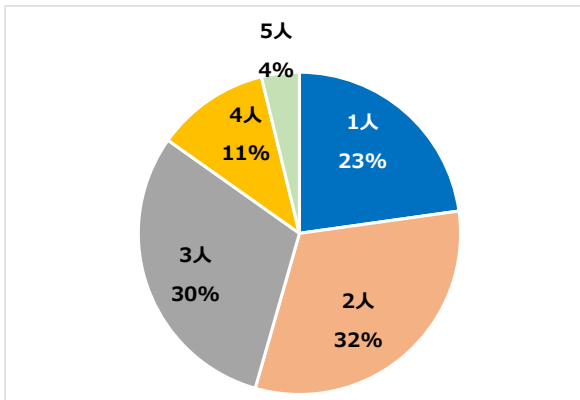
【中2】 (n=81)



【問4-1結果】家族の構成では、小学5年生・中学2年生保護者ともに、「両親・子ども」が最も多く、次いで「ひとり親・子ども」、次いで「両親・子ども・祖父母」、次いで「ひとり親・子ども・祖父母」となっている。

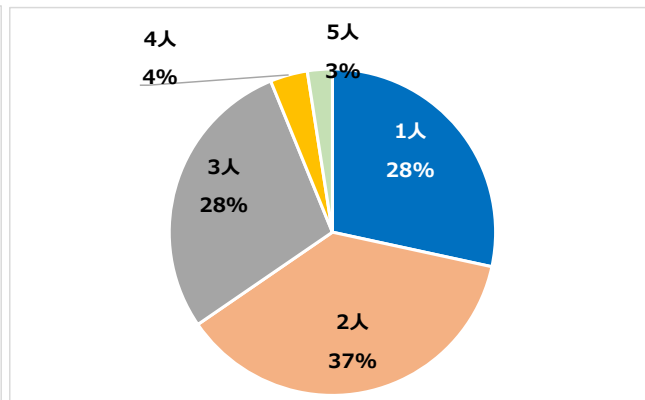
問5 生計を共にしているご家族のうち、お子さんの人数について

【小5】 (n=79)



【中2】

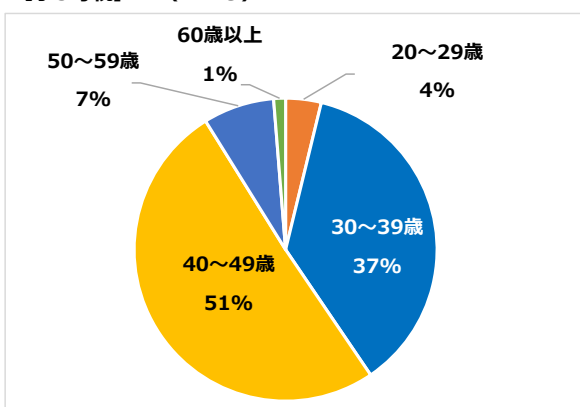
(n=81)



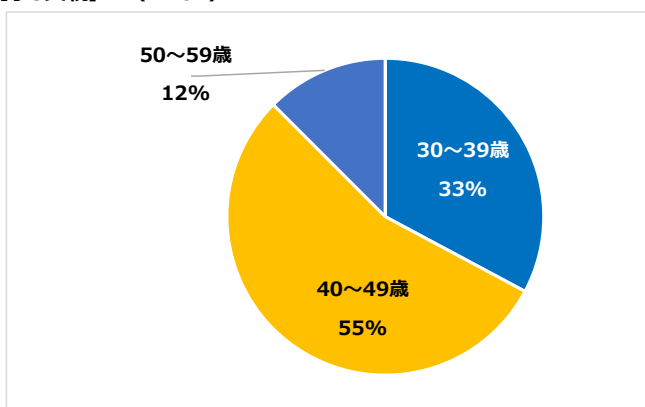
【問5結果】子どもの数では、小学5年生・中学2年生保護者ともに、「2人」が30%台で最も多く、次いで「3人」、「1人」、「4人」、「5人」となっている。

問6 お子さんの親の年齢について

【小5母親】 (n=79)

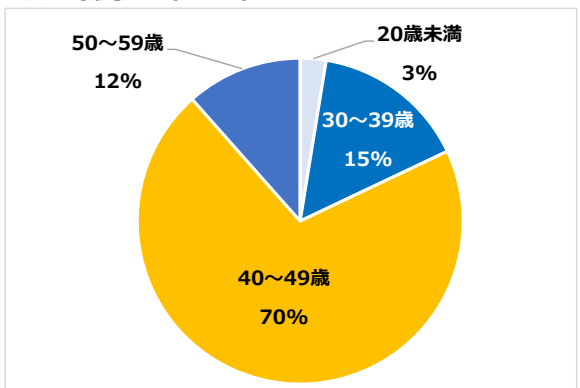


【小5父親】 (n=64)

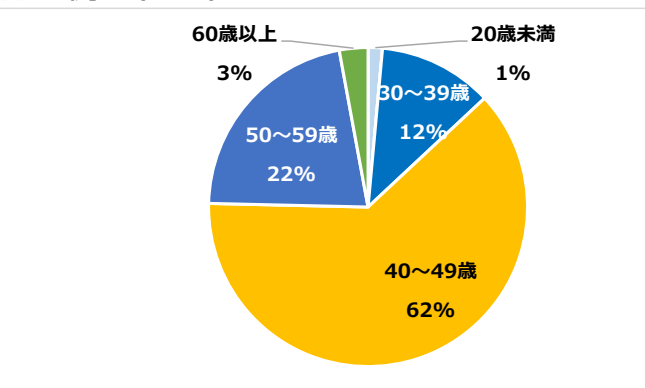


【問6結果】小学5年生の保護者の年齢では、父母ともに「40~49歳」が50%台と最も多く、次いで「30~39歳」、次いで「50~59歳」の順となっている。

【中2母親】 (n=78)



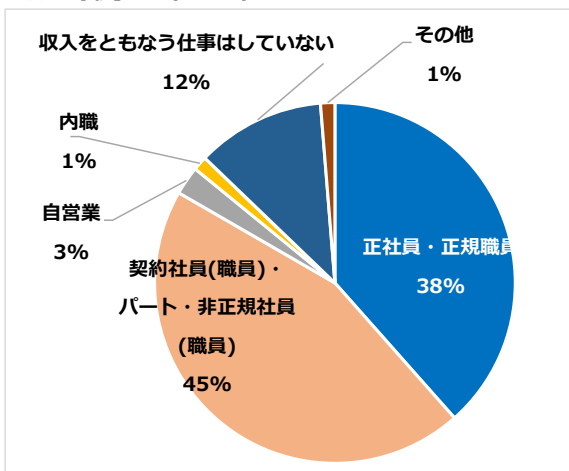
【中2父親】 (n=69)



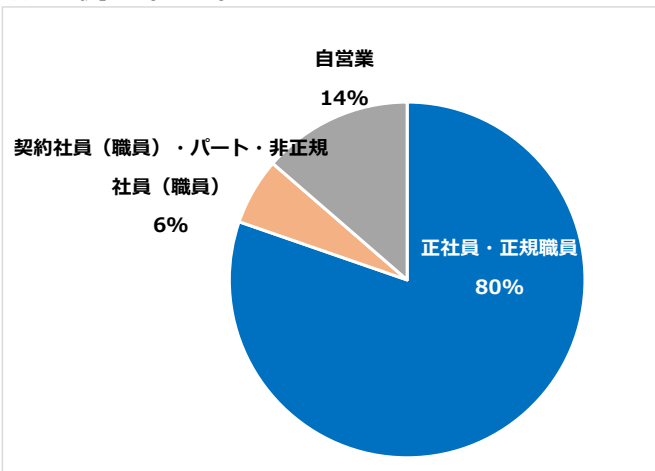
【問6結果】中学2年生の保護者の年齢では、父母ともに、「40~49歳」が60~70%台と最も多く、次いで母親「30~39歳」、父親「50~59歳」、次いで母親「50~59歳」、父親「30~39歳」の順となっている。

問7 お子さんの親の就業状況について

【小5母親】 (n=78)

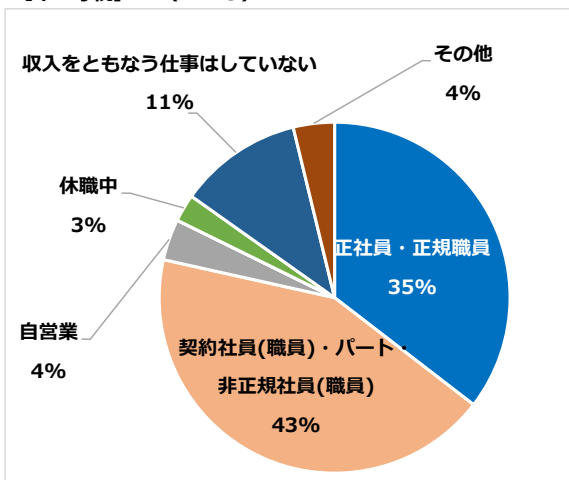


【小5父親】 (n=66)

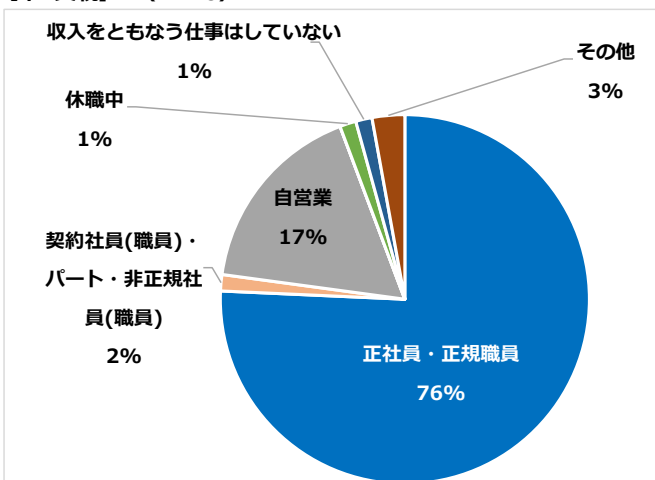


【問7結果】小学5年生の保護者の就業状況は、母親は「契約社員(職員)・パート・非正規社員(職員)」が45%と最も多く、次いで「正社員・正規職員」が38%、「収入をともなう仕事はしていない」が12%となっている。一方で父親は「正社員・正規職員」が80%と最も多く、次いで「自営業」が14%、次いで「契約社員(職員)・パート・非正規社員(職員)」が6%となっている。

【中2母親】 (n=79)



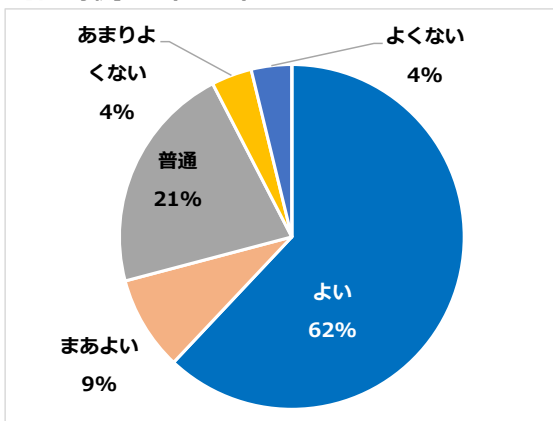
【中2父親】 (n=70)



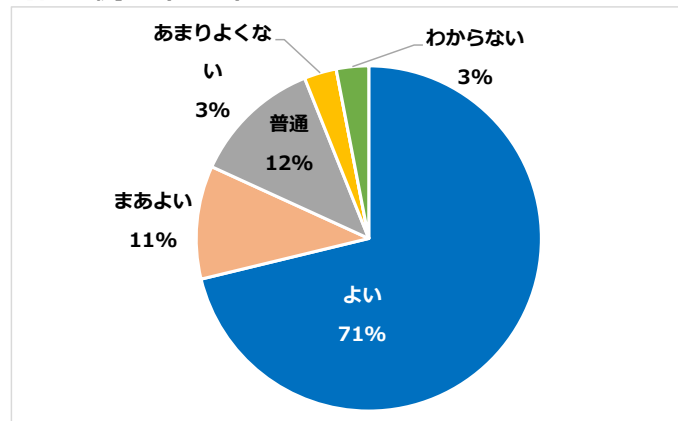
【問7結果】中学2年生の保護者の就業状況は、母親は「契約社員(職員)・パート・非正規社員(職員)」が43%と最も多く、次いで「正社員・正規職員」が35%、「収入をともなう仕事はしていない」が11%となっている。一方で父親は「正社員・正規職員」が76%と最も多く、次いで「自営業」が17%、次いで「その他」となっている。

問8 お子さんの親の健康状態について

【小5母親】 (n=79)

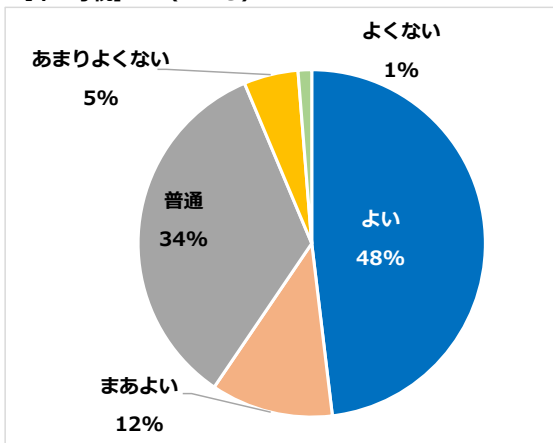


【小5父親】 (n=66)

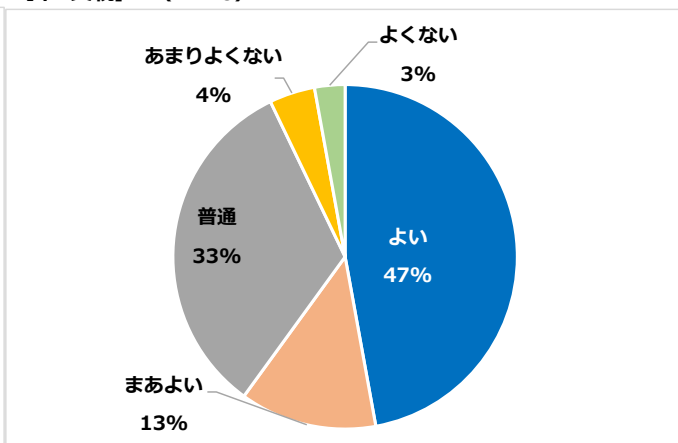


【問8結果】小学5年生は父母ともに「よい」が最も多く、次いで「普通」となった。一方で、母親では「あまりよくない」・「よくない」を合わせると8%（6人）となった。

【中2母親】 (n=79)



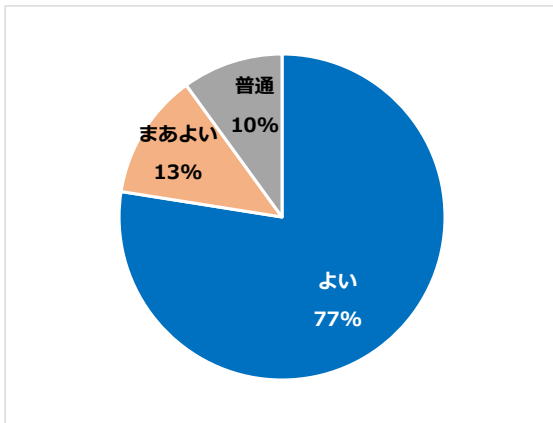
【中2父親】 (n=70)



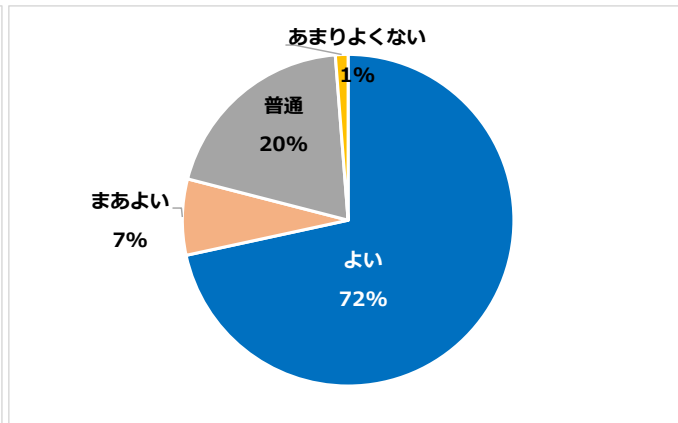
【問8結果】中学2年生は父母ともに「よい」が最も多く、次いで「普通」となった。一方で父親では「あまりよくない」・「よくない」を合わせると7%（5人）、母親では6%（5人）がとなった。小学5年生の保護者に比べ、中学2年生の保護者の方が若干ではあるが健康状態がよくないことが伺える。

問9 お子さんの健康状態について

【小5】 (n=80)



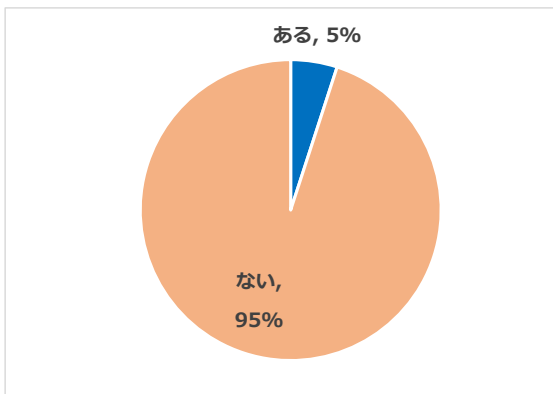
【中2】 (n=81)



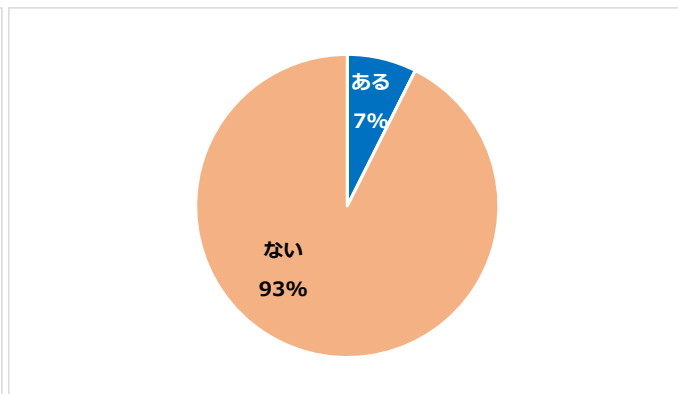
【問9結果】小学5年生・中学2年生の子どもの健康状態では、「よい」が7割と最も多くなった。一方で、中学2年生では「あまりよくない」が1%（1人）となっている。

問10 過去1年間に、お子さんの病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。

【小5】 (n=80)



【中2】 (n=81)

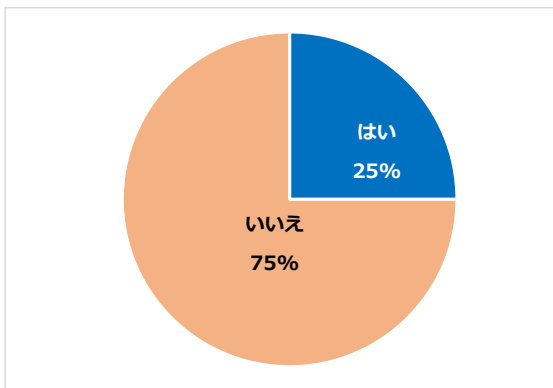


【問10結果】小学5年生では5%（4人）、中学2年生では7%（6人）の子どもが、病院や診療所に受診しなかったという結果となった。

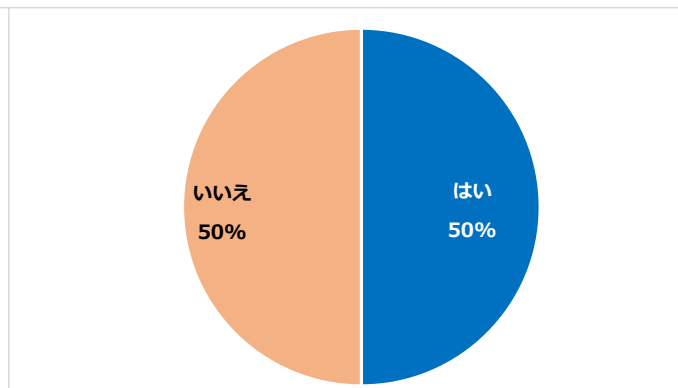
問10-1 問10で「1. ある」と選んだ方にうかがいます。

それは、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によるものですか。

【小5】 (n=4)



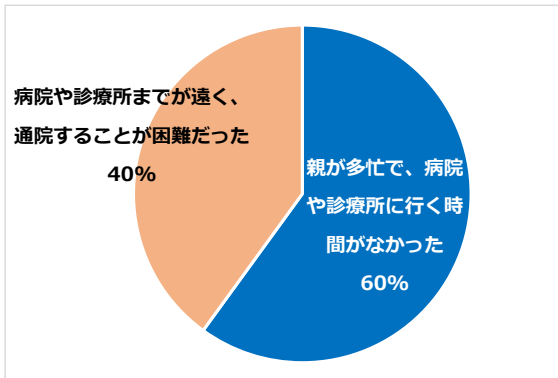
【中2】 (n=6)



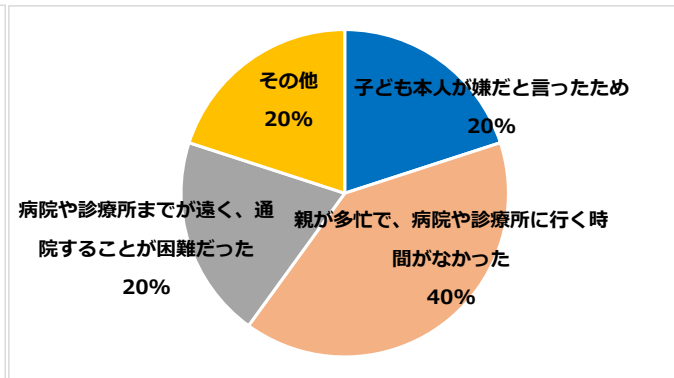
【問10-1結果】受診しなかった理由では、小学5年生で7割（3人）、中学2年生で5割（3人）が「新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛以外の理由」で受診しなかったという結果となった。

問10-2 問10-1で「2. いいえ」を選んだ方にうかがいます。

【小5】 (n=5)



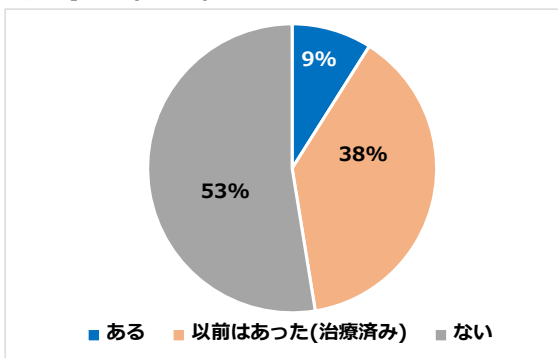
【中2】 (n=5)



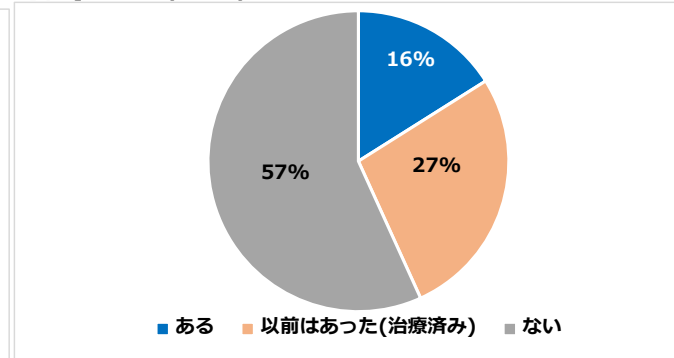
【問10-2結果】新型コロナ以外の理由として、小学5年生は、「親が多忙で行く時間がなかった」が6割（3人）、「病院や診療所までが遠く通院困難」が4割（2人）となった。一方で中学2年生は、「親が多忙で行く時間がなかった」が4割（2人）、「病院や診療所までが遠く通院困難」・「子ども本人が嫌だと言った」・「その他」が2割（1人）となった。

問11 お子さんには、現在むし歯がありますか。

【小5】 (n=78)

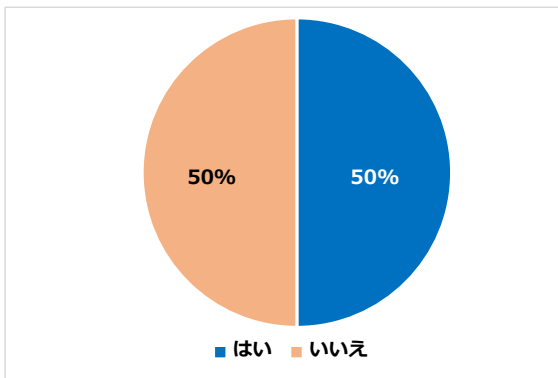


【中2】 (n=81)

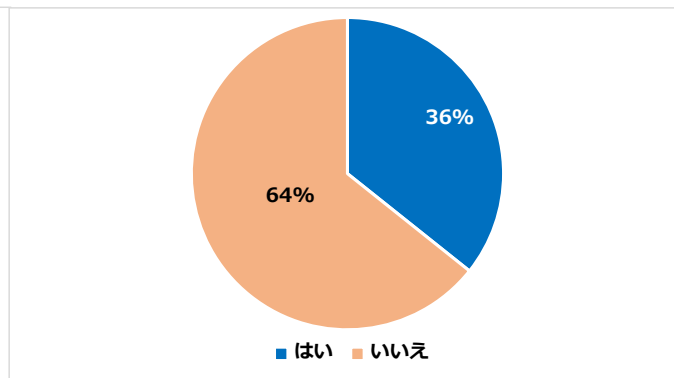


問11-1 問11で「1. ある」を選んだ方にうかがいます。現在むし歯を治療中ですか。

【小5】 (n=8)

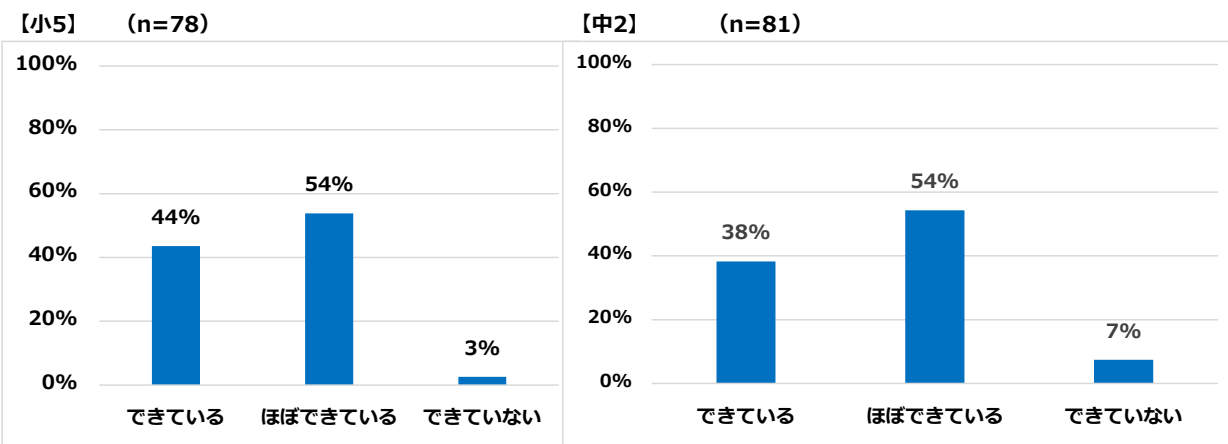


【中2】 (n=14)



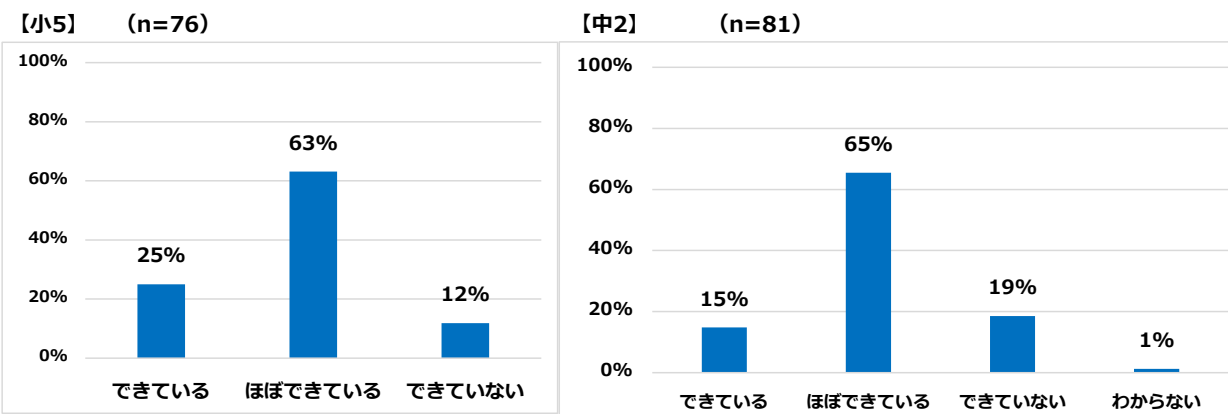
問12 お子さんの基本的な生活・学習習慣について

●決まった時間に起床する



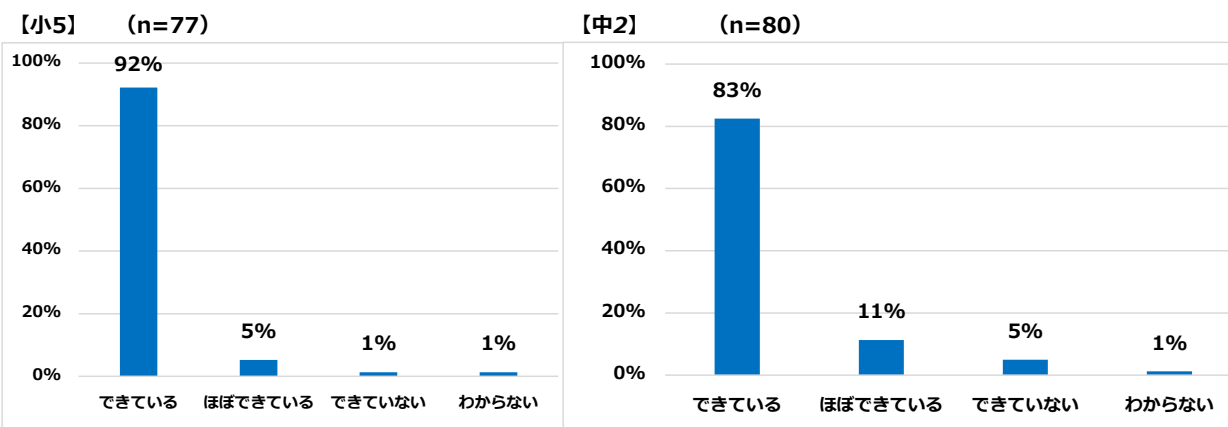
【結果】小学5年・中学2年ともに「できている」「ほぼできている」を合わせると9割を超えているが、中学2年において「できていない」が小学5年を上回っている。

●決まった時間に就寝する



【結果】小学5年・中学2年で「できている」「ほぼできている」が8割を超えている一方で、「できていない」割合は小学5年で12%、中学2年で19%となった。

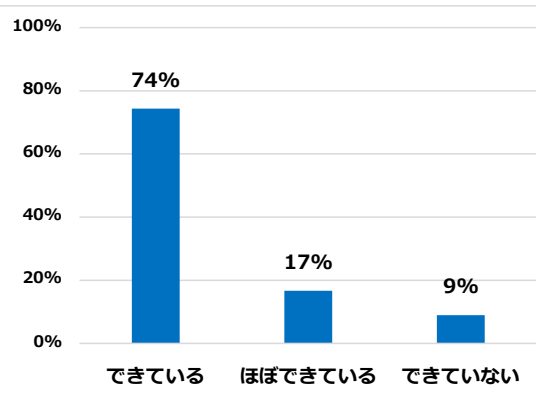
●朝食を食べる



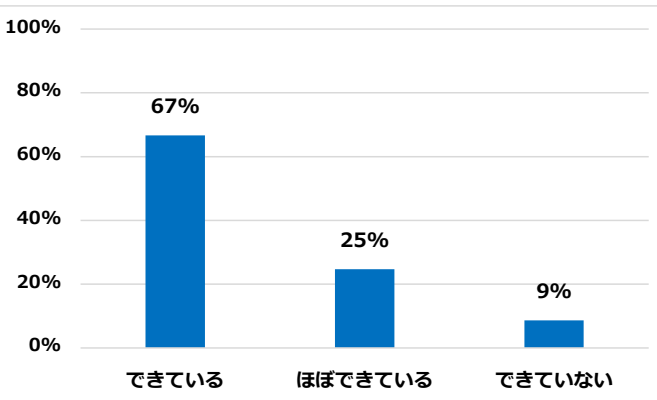
【結果】小学5年・中学2年ともに「できている」「ほぼできている」を合わせて9割を超えているが、中学2年で「できていない」が5%（4人）となった。

●朝と夜に歯を磨く

【小5】 (n=78)



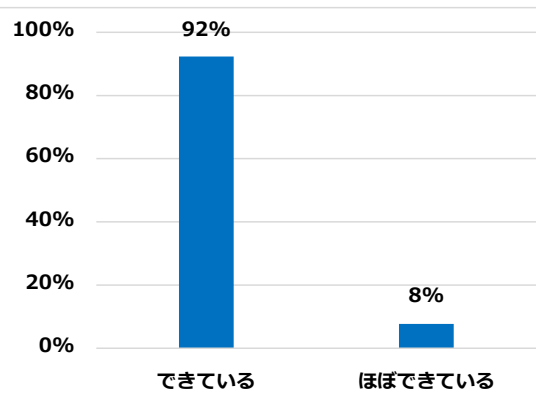
【中2】 (n=81)



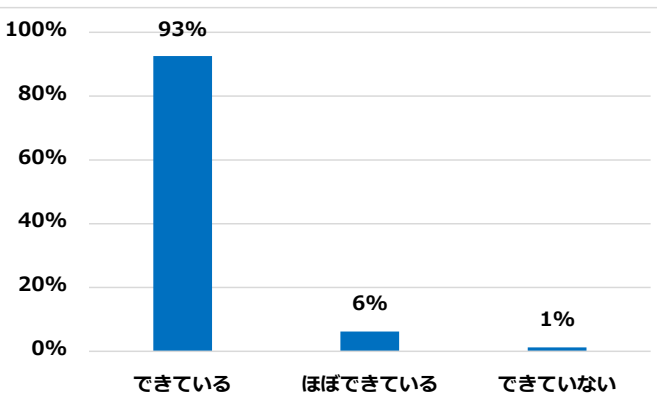
【結果】小学5年・中学2年ともに「できている」「ほぼできている」を合わせると9割を超えているが、「できていない」では、小学5年・中学2年ともに9%（7人）であった。

●お風呂に入る

【小5】 (n=78)



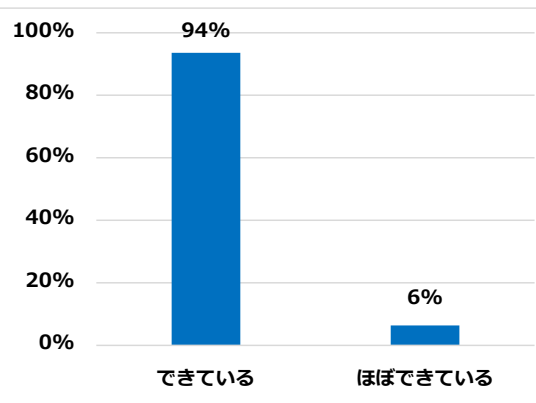
【中2】 (n=81)



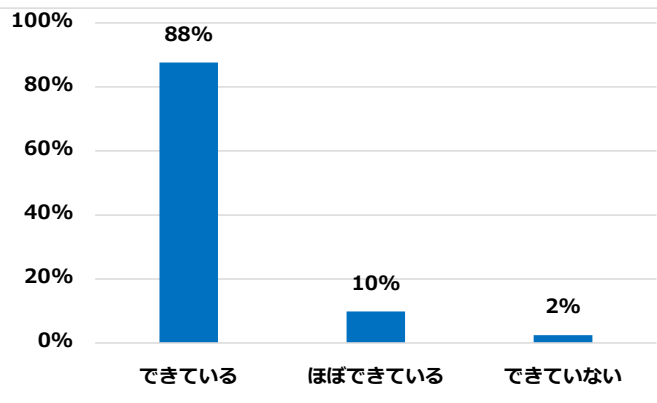
【結果】小学5年・中学2年ともに「できている」「ほぼできている」を合わせると9割から10割となった一方で、中学2年で「できていない」が1%（1人）となった。

●遅刻せずに学校に行く

【小5】 (n=78)



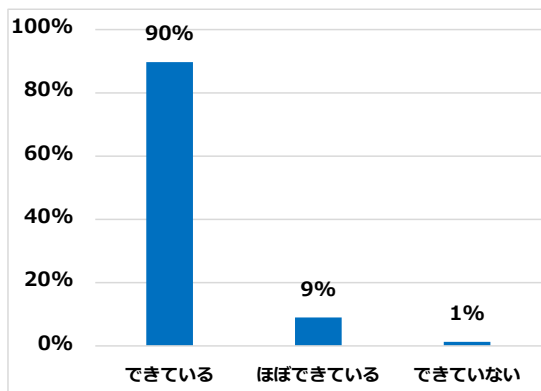
【中2】 (n=81)



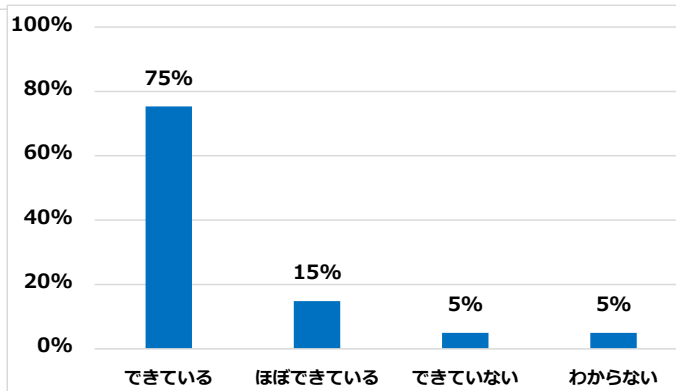
【結果】小学5年は10割、中学2年は9割が「できている」「ほぼできている」であったが、中学2年で「できていない」が2%（2人）という結果となった。

●宿題をする

【小5】 (n=78)



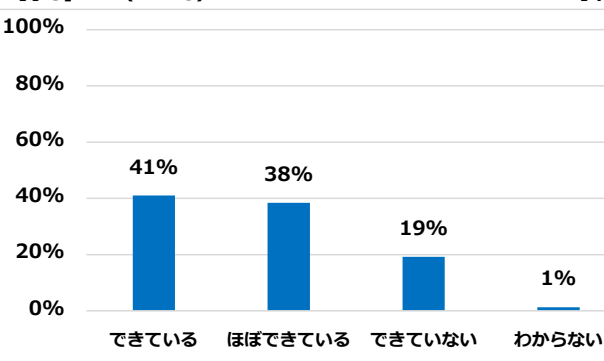
【中2】 (n=81)



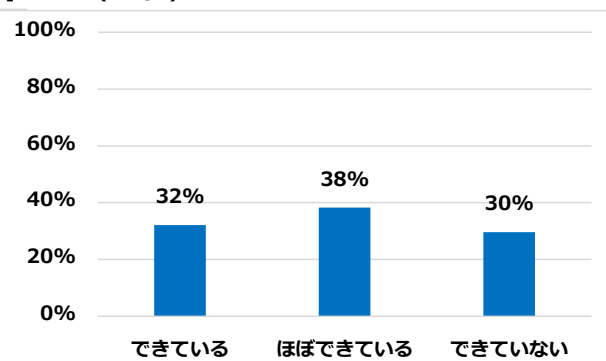
【結果】「できていない」では、小学5年で1%（1人）、中学2年で5%（4人）となった。

●自分の持ち物を整理整頓する

【小5】 (n=78)



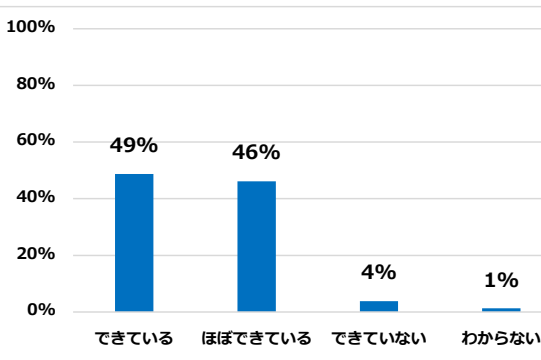
【中2】 (n=81)



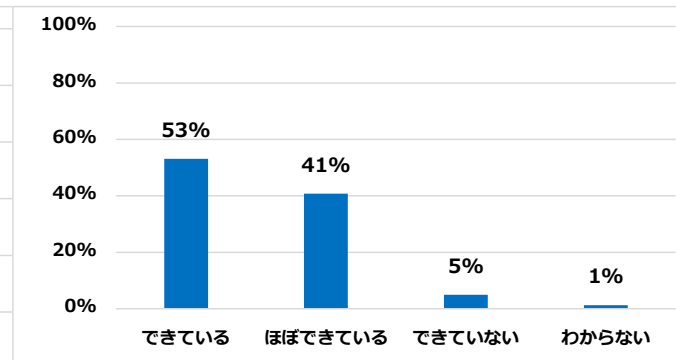
【結果】「できていない」割合は、小学5年で19%（15人）、中学2年で30%（24人）となり、生活習慣の中で「できていない」割合が最も多い状況であった。

●あいさつや「ありがとう」などが言える

【小5】 (n=78)



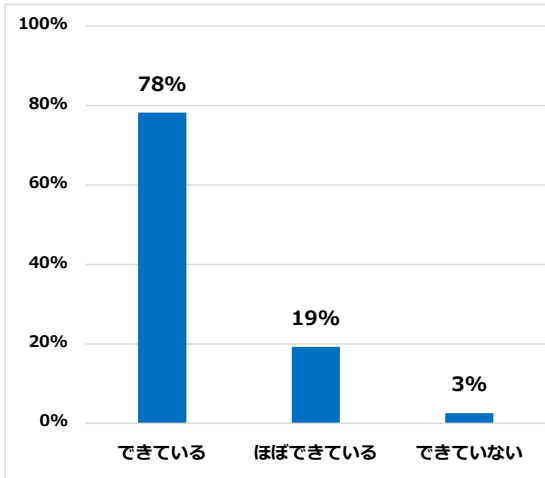
【中2】 (n=81)



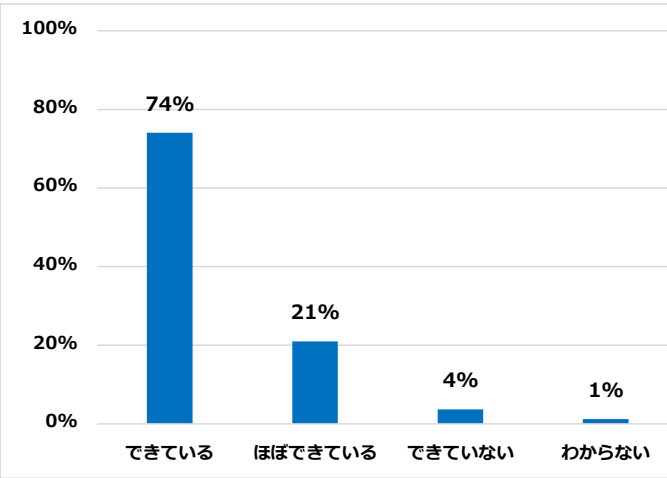
【結果】「できていない」割合は、小学5年で4%（3人）、中学2年で5%（4人）となった。

●友達と話したり、遊んだりする

【小5】 (n=78)



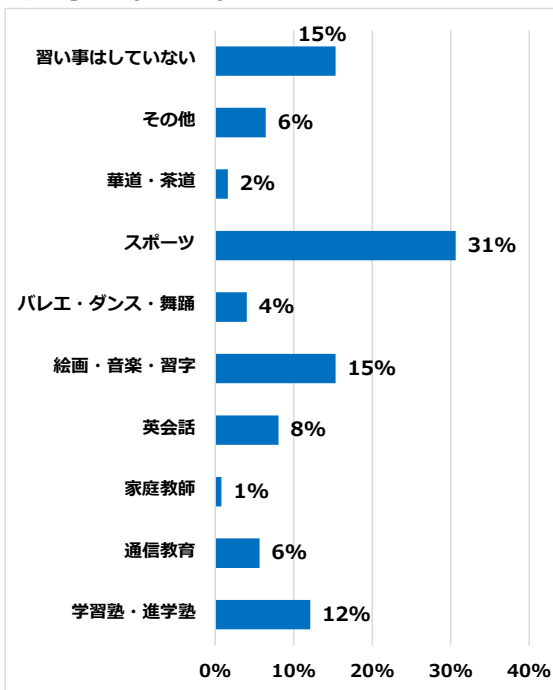
【中2】 (n=81)



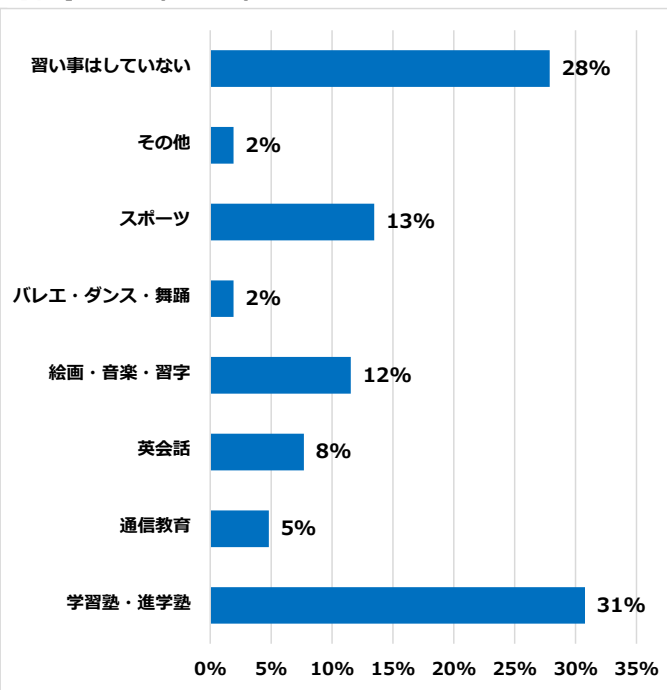
【結果】「できていない」割合は、小学5年で3%（2人）、中学2年で4%（3人）となった。

問13 お子さんは、現在、習い事等をしていますか。（複数回答）

【小5】 (n=124)



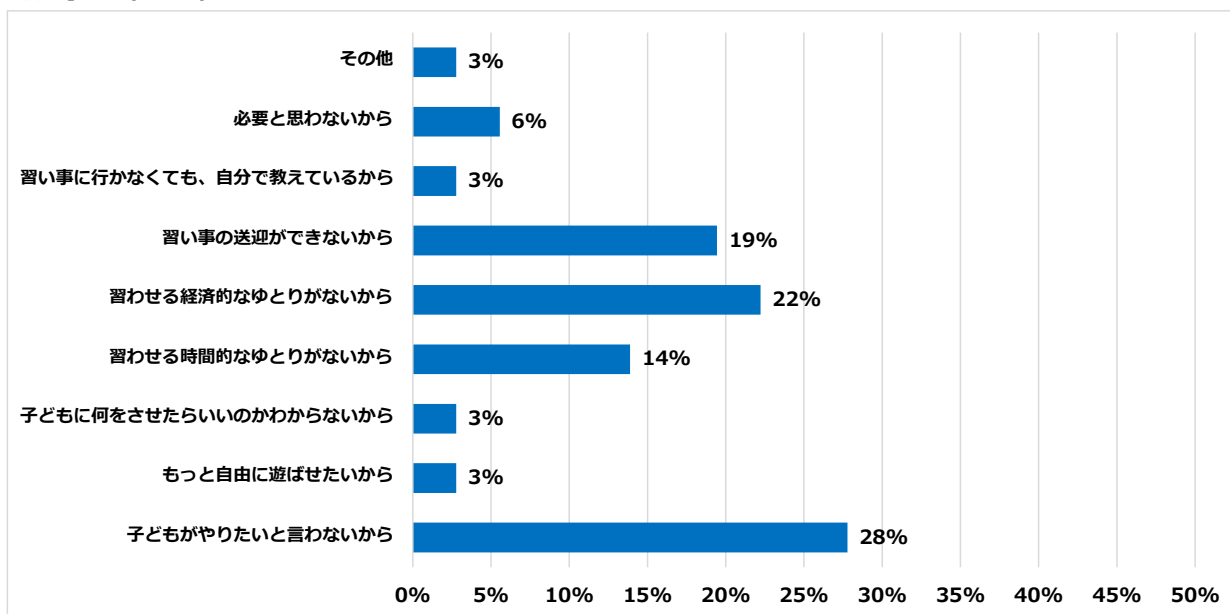
【中2】 (n=104)



【結果】小学5年では、「スポーツ」、中学2年では「学習塾・進学塾」がそれぞれ31%と最も多い。一方で、「習い事はしていない」が小学5年で15%（19人）・中学2年で28%（29人）となった。

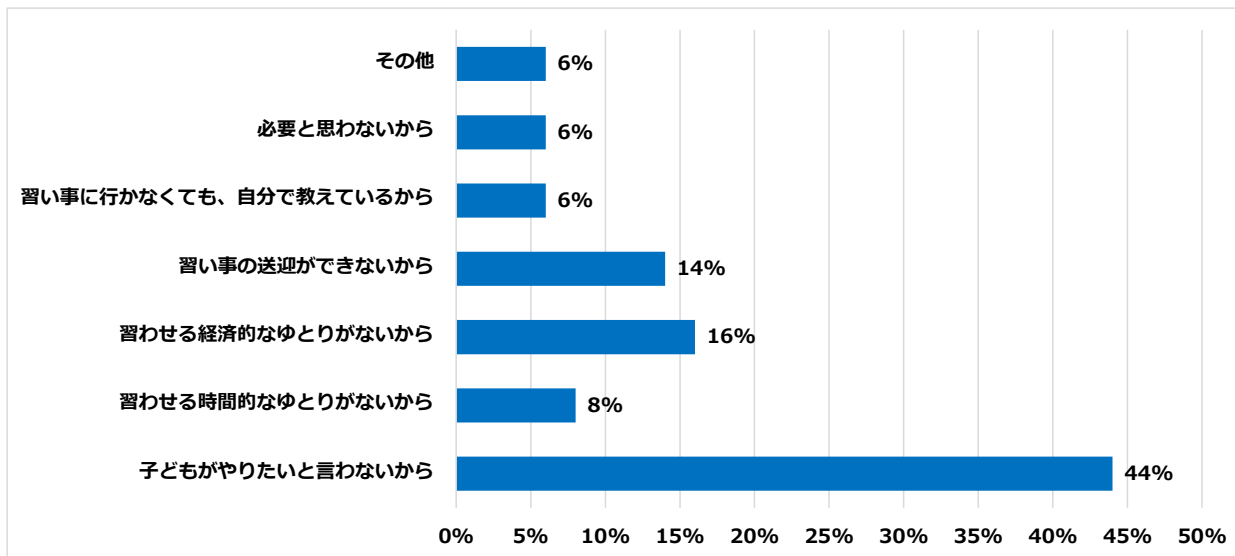
問13-1 問13で「10.習い事等はしていない」を選んだ方にうかがいます。習い事等をしていない理由をお答えください。

【小5】 (n=36)



【結果】小学5年では、「子どもがやりたいと言わないから」が28%と最も多く、次いで「習わせる経済的なゆとりがないから」が22%（8人）、「習い事の送迎ができないから」が19%（7人）という結果となった。

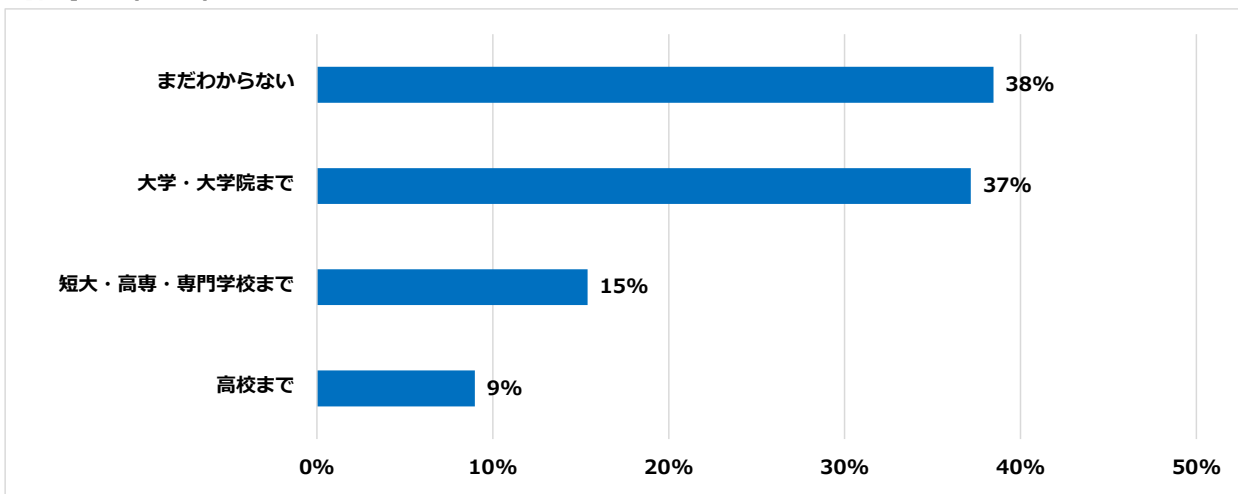
【中2】 (n=50)



【結果】中学2年では、「子どもがやりたいと言わないから」が44%と最も多く、次いで「習わせる経済的なゆとりがないから」が16%（8人）、「習い事の送迎ができないから」が14%（7人）という結果となった。

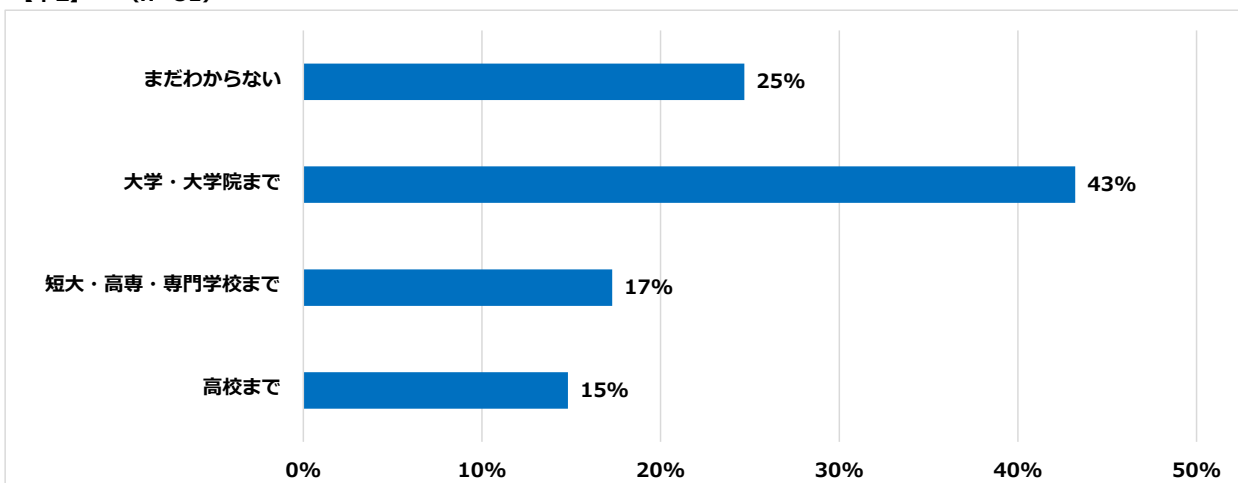
問14 お子さんは、中学校卒業後、どの学校まで行くことになると思いますか。

【小5】 (n=78)



【結果】 小学5年では、「まだわからない」が38%（30人）が最も多く、次いで「大学・大学院」までが37%（29人）、「短大・高専・専門学校まで」が15%（12人）という結果となった。

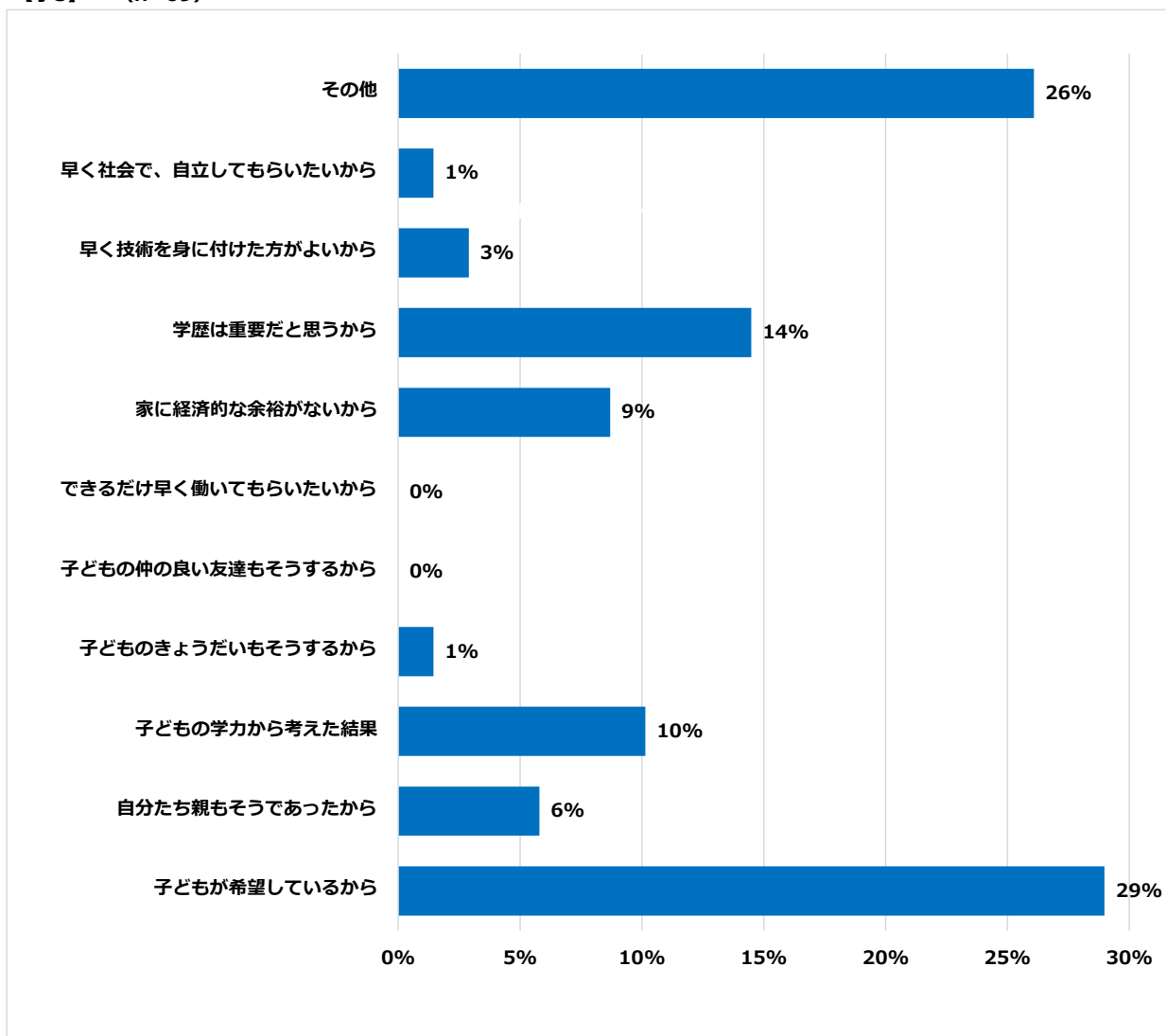
【中2】 (n=81)



【結果】 中学2年では、「大学・大学院まで」が43%（35人）と最も多く、次いで「まだわからない」が25%（20人）、「短大・高専・専門学校まで」が17%（14人）、「高校まで」が15%（12人）という結果となった。

問15 問14でそう考える最大の理由を教えてください。

【小5】 (n=69)

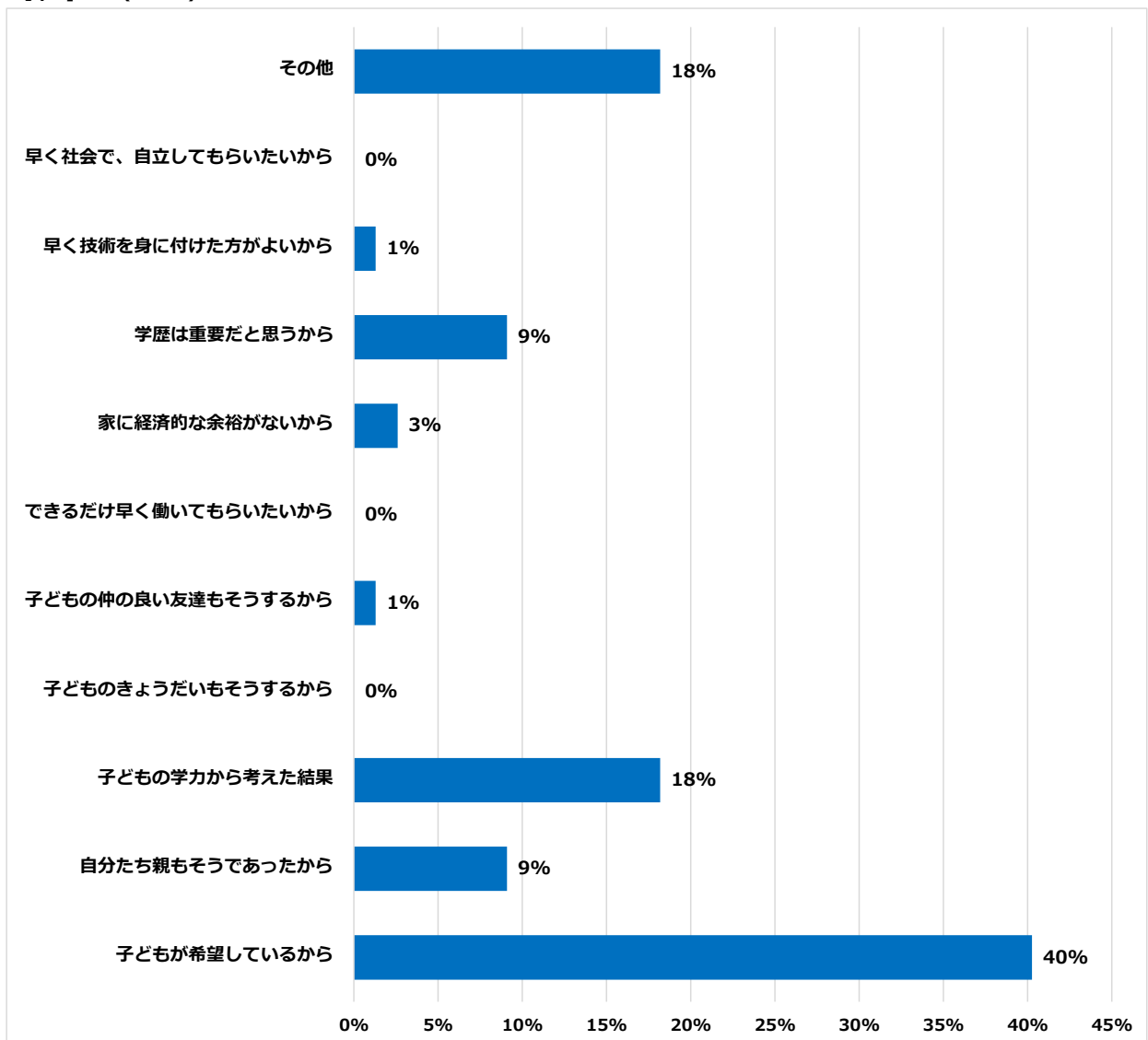


※その他

- ・将来の希望が確定していない
- ・やりたいことがまだ分からないから
- ・今、決める必要がないから
- ・できれば手に職をつけてもらいたい
- ・現在の年齢では判断がつかないが、進学したいとなった場合、経済的負担への不安もある
- ・まだわからないから
- ・自分が何をしたいか、まだわかっていない為
- ・こうなりたい、何かをしたい等まだわからないから

【結果】小学5年では、「子どもが希望しているから」が29%（20人）と最も多く、次いで「その他」が26%（18人）、「学歴は重要だと思うから」が14%（10人）、「子どもの学力から考えた結果」が10%（7人）、「家に経済的な余裕がないから」が9%（6人）という結果となった。

【中2】 (n=77)



※その他

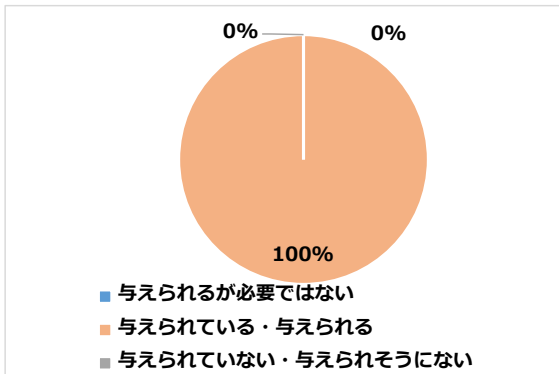
- ・希望する職種にとって、その方がいいと思うから
- ・本人の希望がよく変わるので、進路を決める時に決めれば良いと思うので。
- ・将来の夢が明確になるまで、選べる道はたくさんあった方がよいから
- ・中学校卒業だけでもいいと思っている本人。親は高校には行ってもらいたい
- ・子どもがどう希望しているかわからない（まだ深く話をしたことがない）
- ・未定
- ・将来のことはまだ具体的ではないので想像です
- ・明確に希望していないが、望めば行かせてやりたい
- ・子どもの思いを聞きたいから
- ・世の中を知ってほしいから
- ・将来がまだ見えていない

【結果】中学2年生では、「子どもが希望しているから」が40%（31人）と最も多く、次いで「子どもの学力から考えた結果」、「その他」がそれぞれ18%（14人）、「自分たち親もそうであったから」、「学歴は重要だと思うから」がそれぞれ9%（7人）、「家に経済的な余裕がないから」が3%（2人）、「早く技術を身に付けた方がよいから」、「子どもの仲の良い友達もそうするから」がそれぞれ1%（1人）という結果となった。

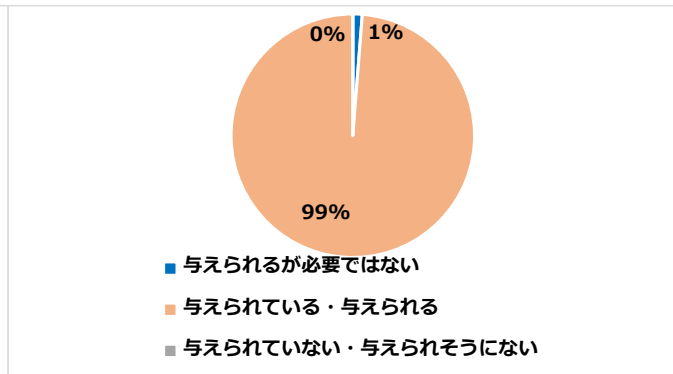
問16 次のような環境・モノを与える場合、あなたの家庭では経済的理由によりお子さんに与えられていないものや与えられそうにないものがありますか。

●三度（朝・昼・夕）の食事

【小5】 (n=80)

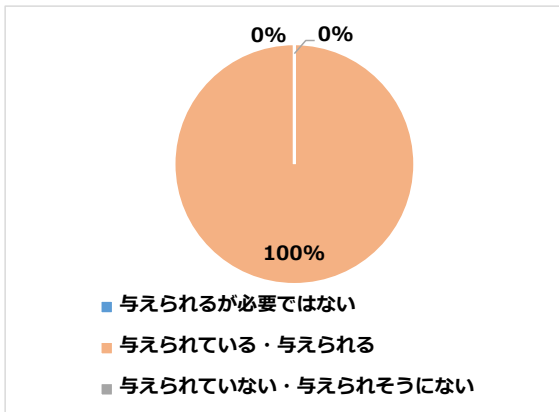


【中2】 (n=80)

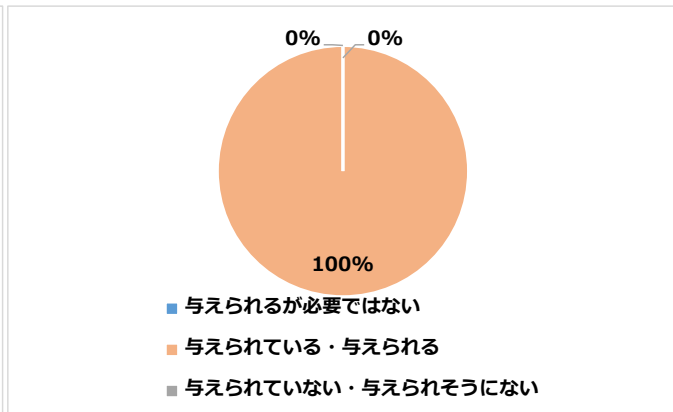


●手作りの夕食

【小5】 (n=80)

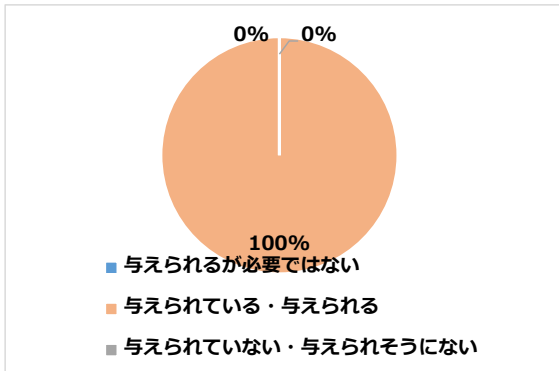


【中2】 (n=80)

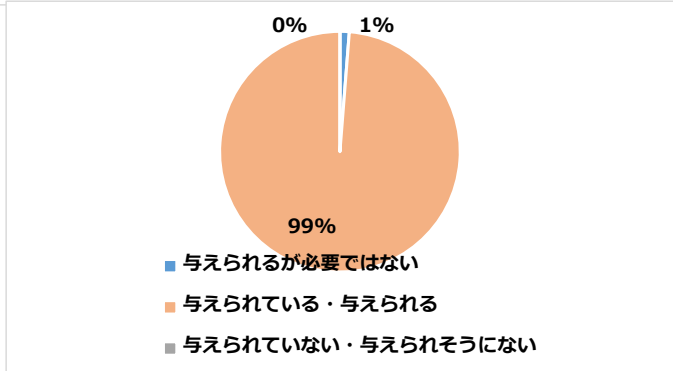


●必要な時に病院・診療所に行く

【小5】 (n=80)

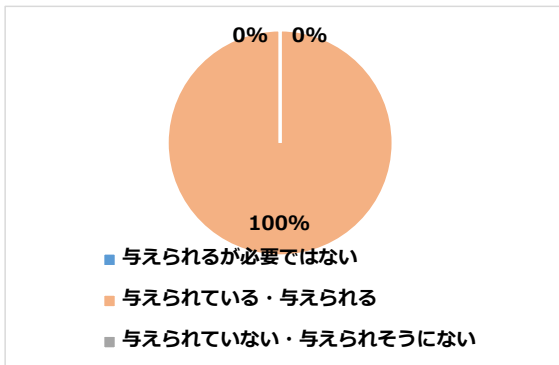


【中2】 (n=80)

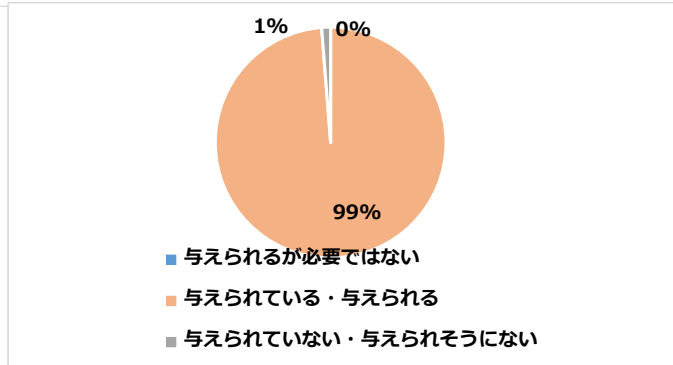


●新しい文房具

【小5】 (n=80)

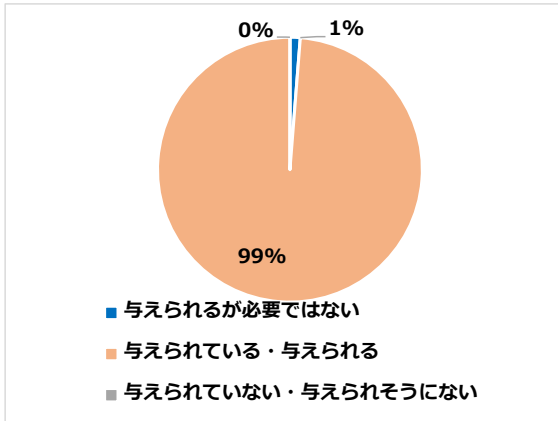


【中2】 (n=80)

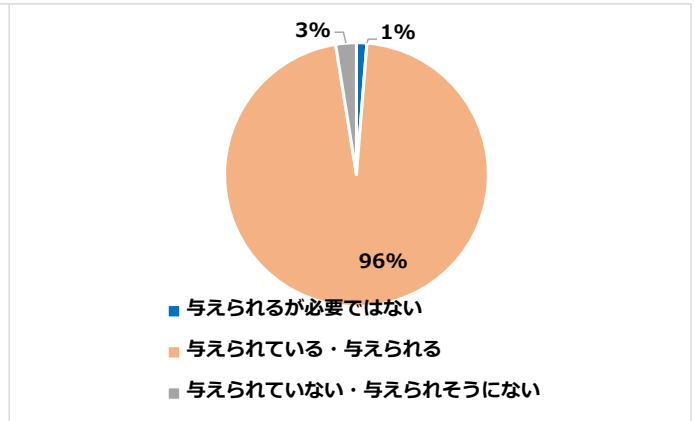


●季節に合った衣服

【小5】 (n=80)

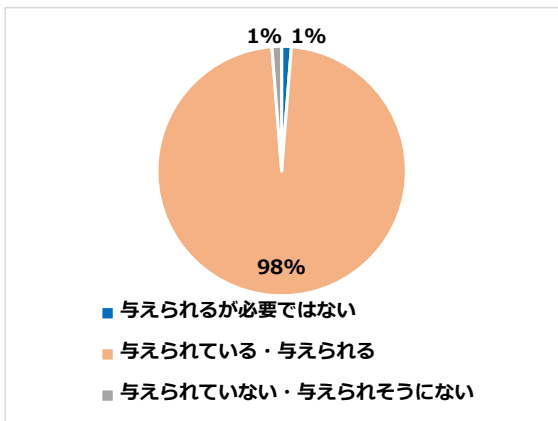


【中2】 (n=79)

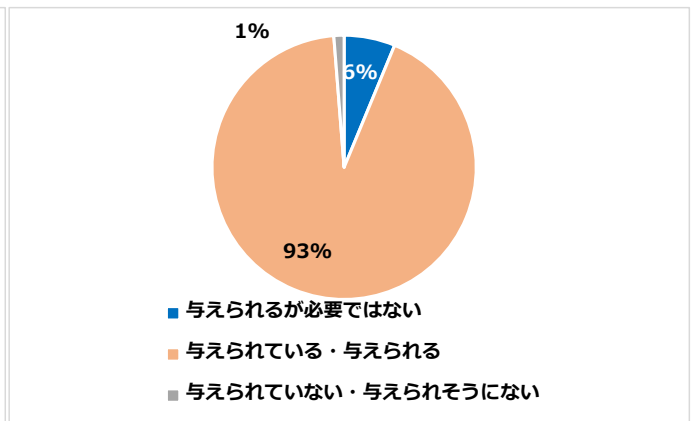


●誕生日のお祝い

【小5】 (n=80)

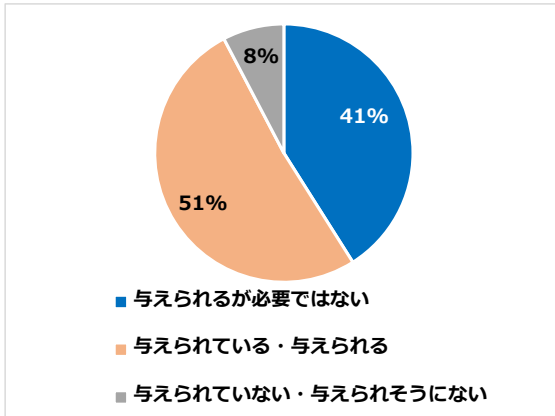


【中2】 (n=80)



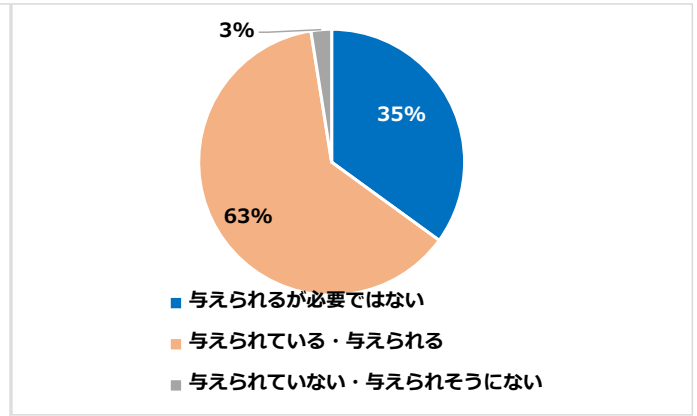
●おこづかい

【小5】 (n=78)



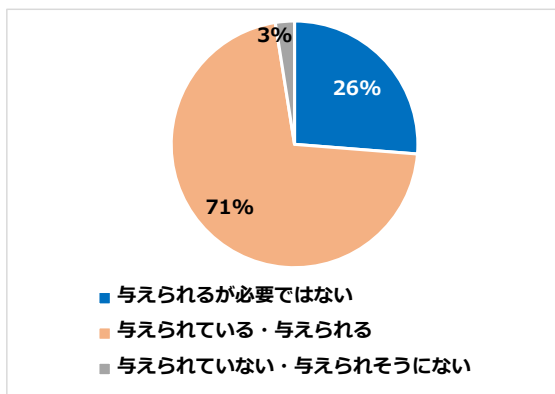
【中2】

(n=80)



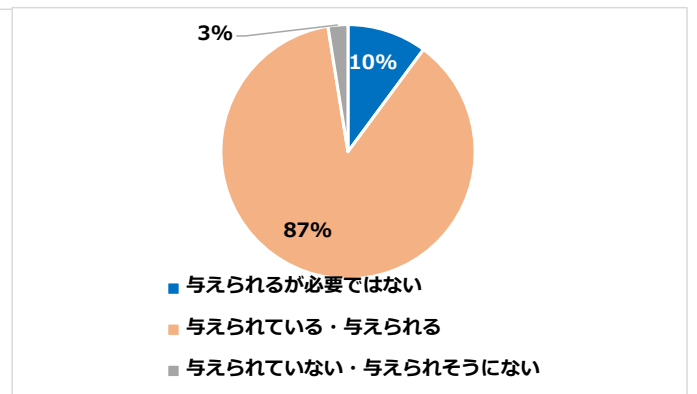
●子ども専用の勉強机

【小5】 (n=80)



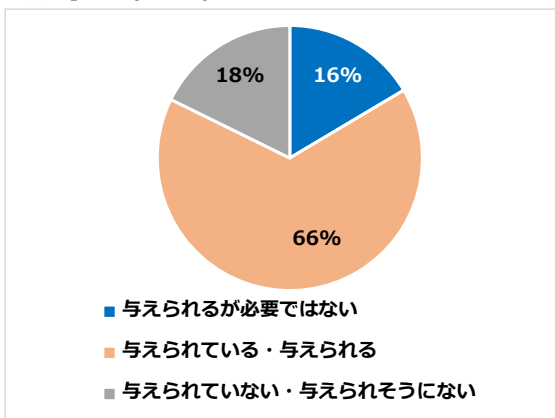
【中2】

(n=79)



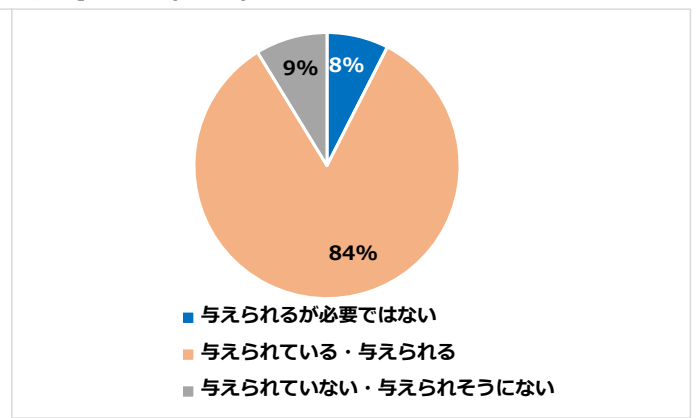
●子ども部屋

【小5】 (n=79)



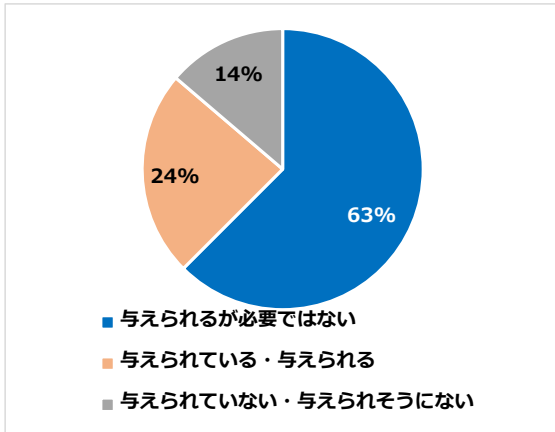
【中2】

(n=80)

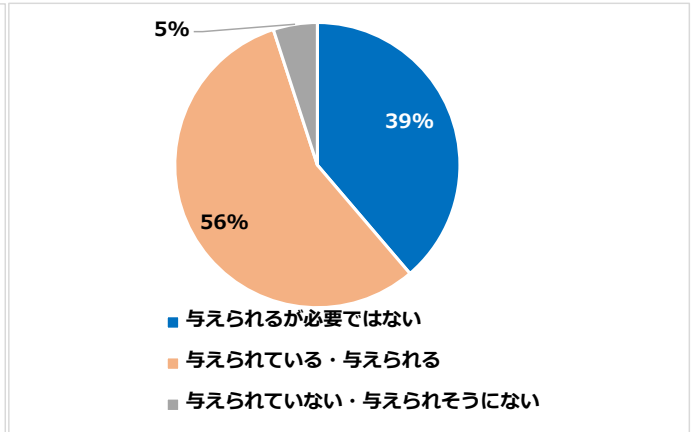


●子ども専用の携帯電話・スマートフォン

【小5】 (n=80)

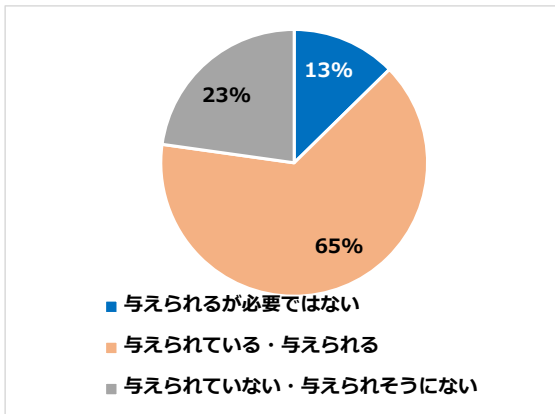


【中2】 (n=80)

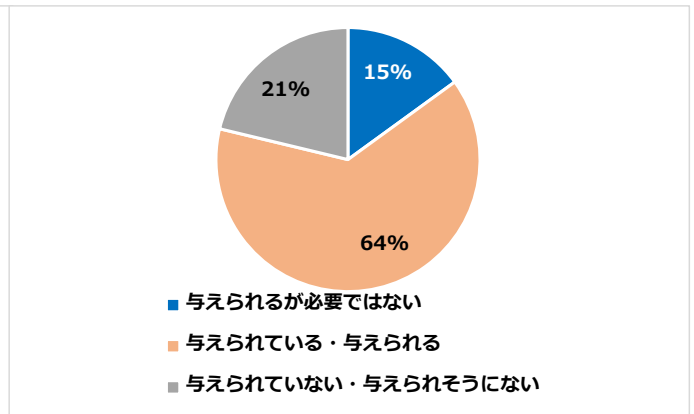


●キャンプなど自然体験活動への参加

【小5】 (n=79)

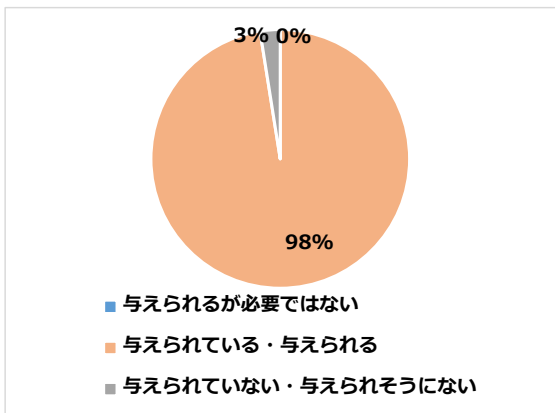


【中2】 (n=80)

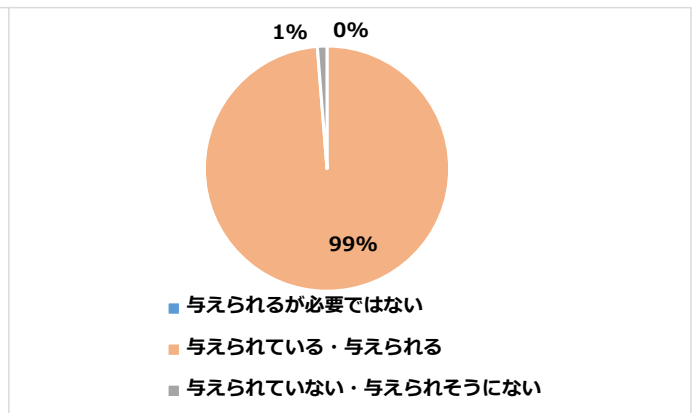


●遠足・修学旅行等の費用のかかる学校行事への参加

【小5】 (n=80)

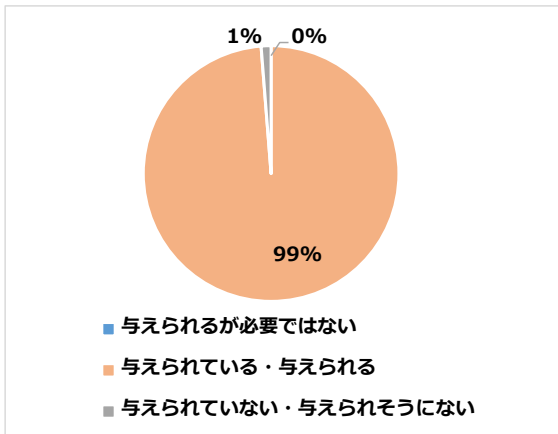


【中2】 (n=79)

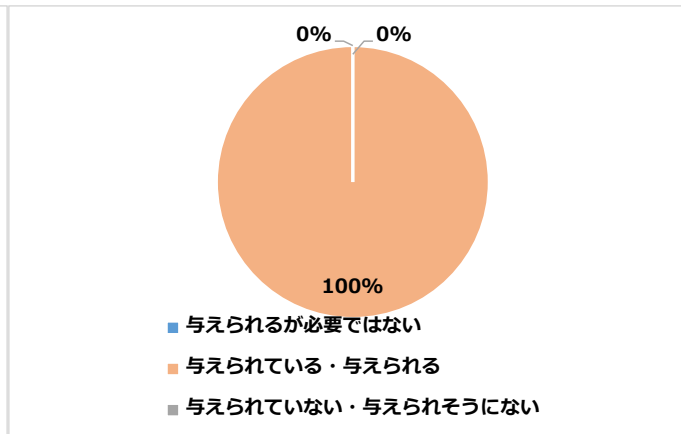


●子どもが希望すれば高校への進学

【小5】 (n=80)

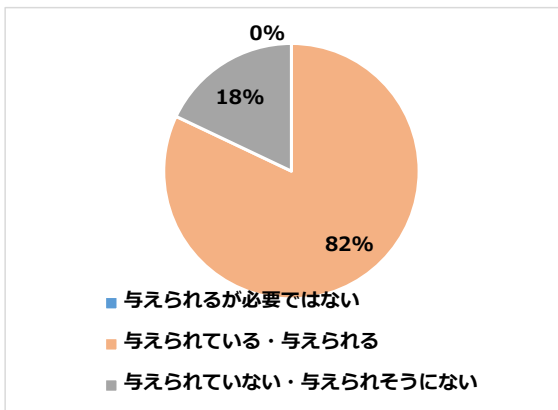


【中2】 (n=80)

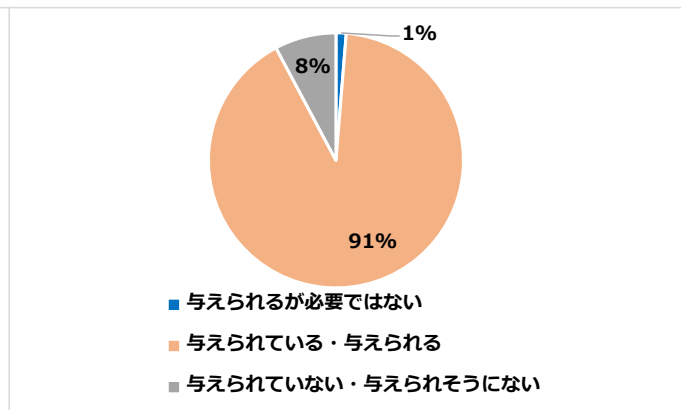


●子どもが希望すれば大学への進学

【小5】 (n=78)



【中2】 (n=77)

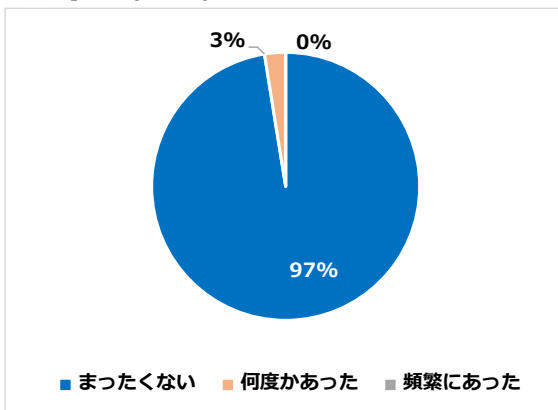


【問16結果】 ほぼ大半の設問で「与えられている・与えられる」が9割以上となった。一方で、「与えられるが必要ではない」と回答した割合では、おこづかいが3割から4割、子ども専用の勉強机が1割から2割、子ども部屋が1割、子ども専用の携帯電話・スマートフォンが4割から6割、キャンプなど自然体験活動への参加が1割程度となった。また、「与えられていない・与えられそうにない」で最も多かったのは、「キャンプなど自然体験活動への参加」の2割となった。

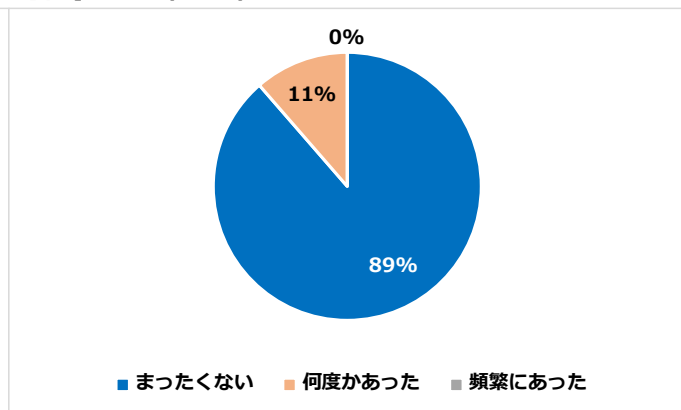
問17 あなたの世帯（家庭）では、過去1年間に経済的な理由により、次のような経験がありましたか。

●必要な食料が買えなかった

【小5】 (n=79)

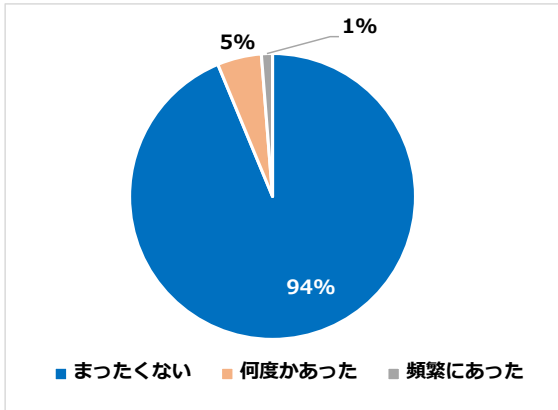


【中2】 (n=79)

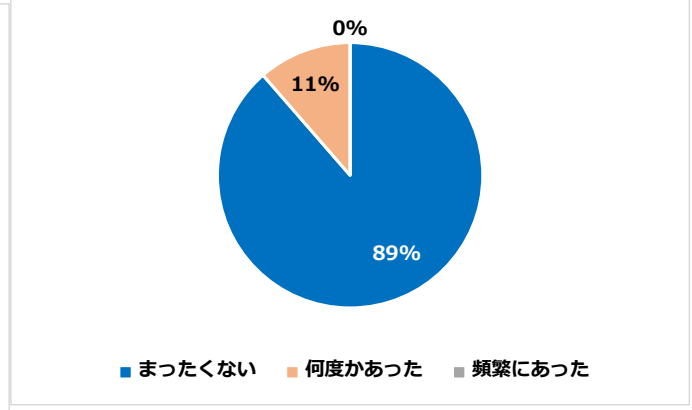


●必要な衣料が買えなかった

【小5】 (n=80)

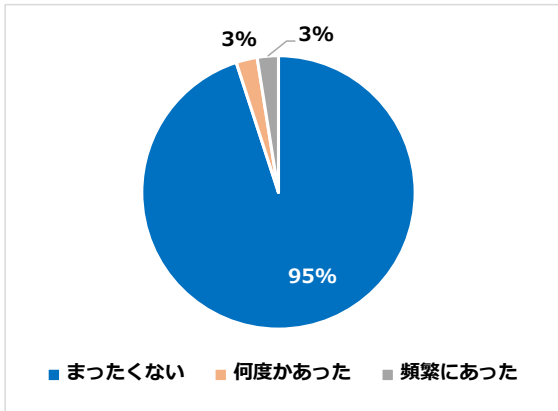


【中2】 (n=80)

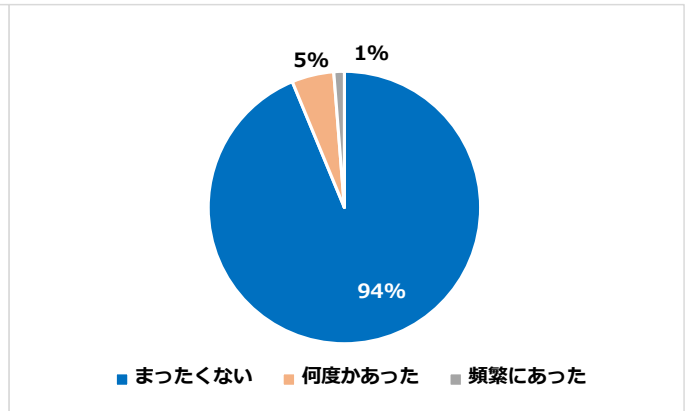


●電気・ガス・水道料金の滞納

【小5】 (n=80)

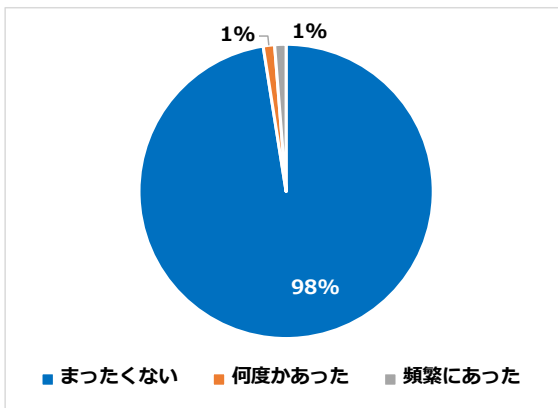


【中2】 (n=80)

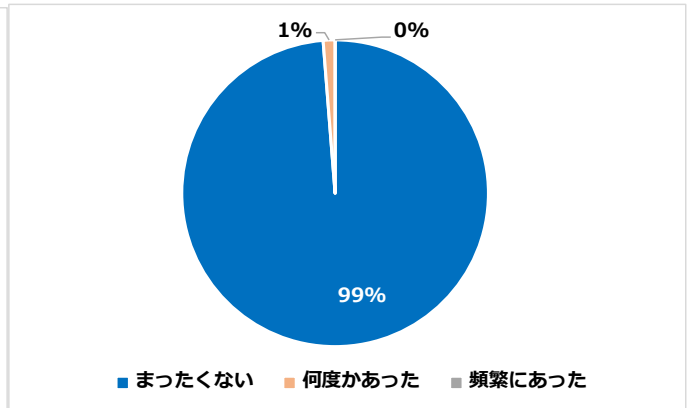


●電話料金の滞納

【小5】 (n=80)

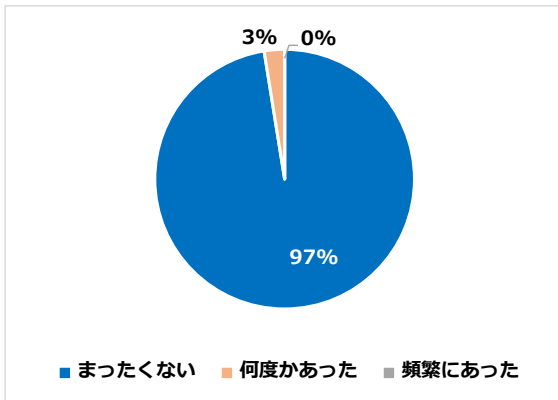


【中2】 (n=80)

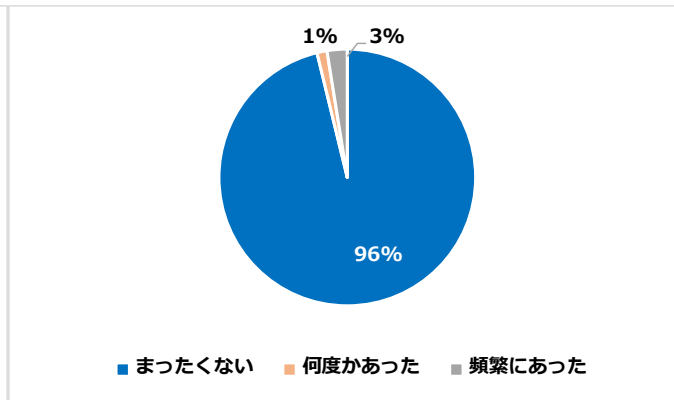


●家賃・住宅ローンの滞納

【小5】 (n=79)

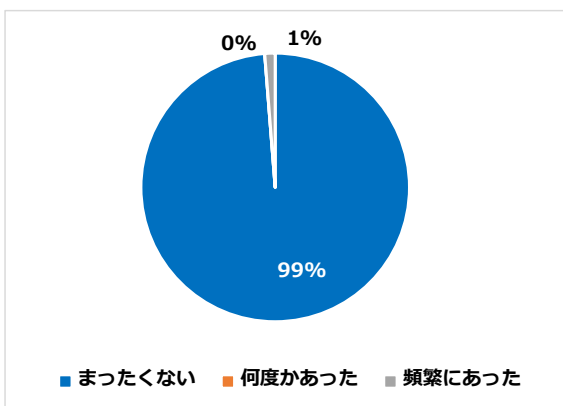


【中2】 (n=79)

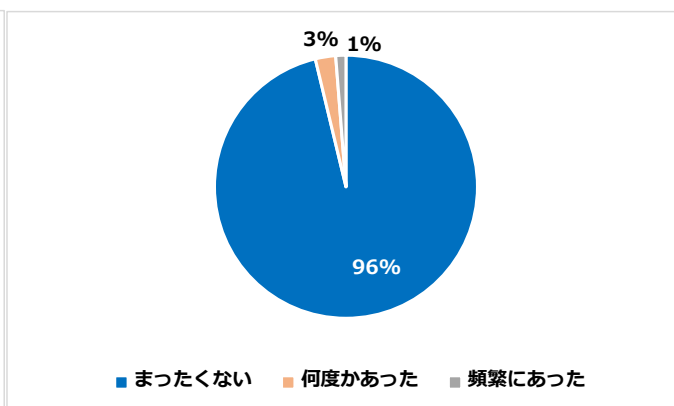


●給食費・学校諸費の滞納

【小5】 (n=80)



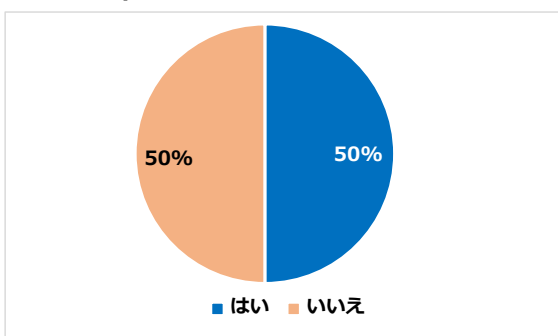
【中2】 (n=80)



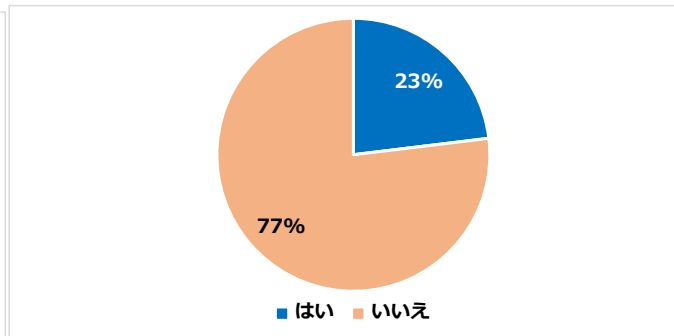
【問17結果】「何度かあった」で最も多かったものは、小学5年生で「必要な衣料が買えなかった」が5%（4人）中学2年生では「必要な食料が買えなかった」が11%（9人）となった。また「頻繁にあった」で最も多かったものは、小学5年生で「電気・ガス・水道料金の滞納」が3%（2人）、中学2年生では「家賃・住宅ローンの滞納」が3%（2人）となった。

問17-1 問17で「何度かあった」又は「頻繁にあった」を選んだ方にうかがいます。それは、新型コロナウイルス感染症拡大によるものですか。

【小5】 (n=6)



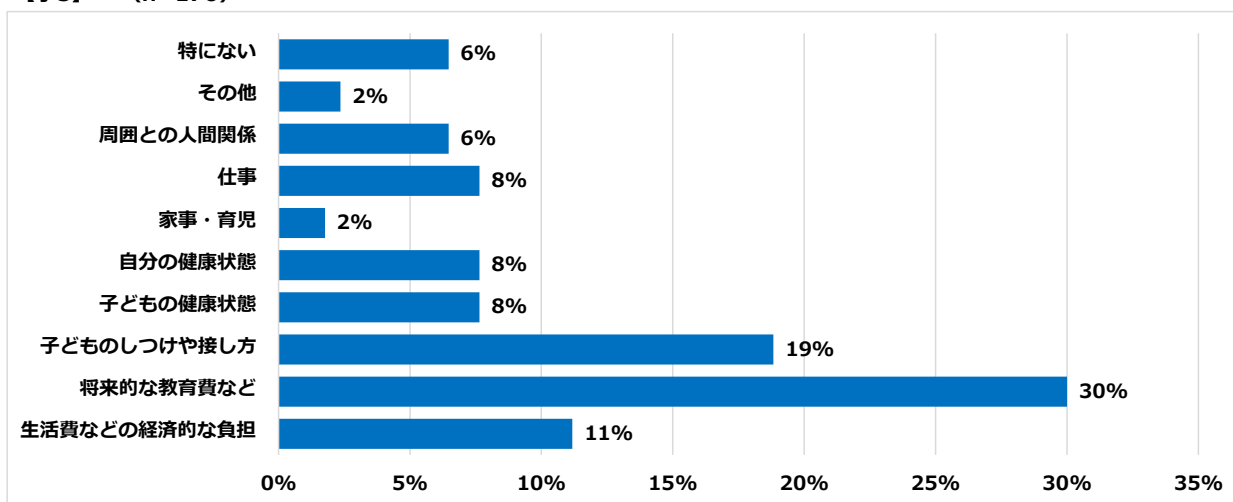
【中2】 (n=13)



【問17-1結果】新型コロナウイルスの影響ではない「いいえ」と回答された割合は、小学5年生で5割（3人）、中学2年生で7割強（10人）となった。

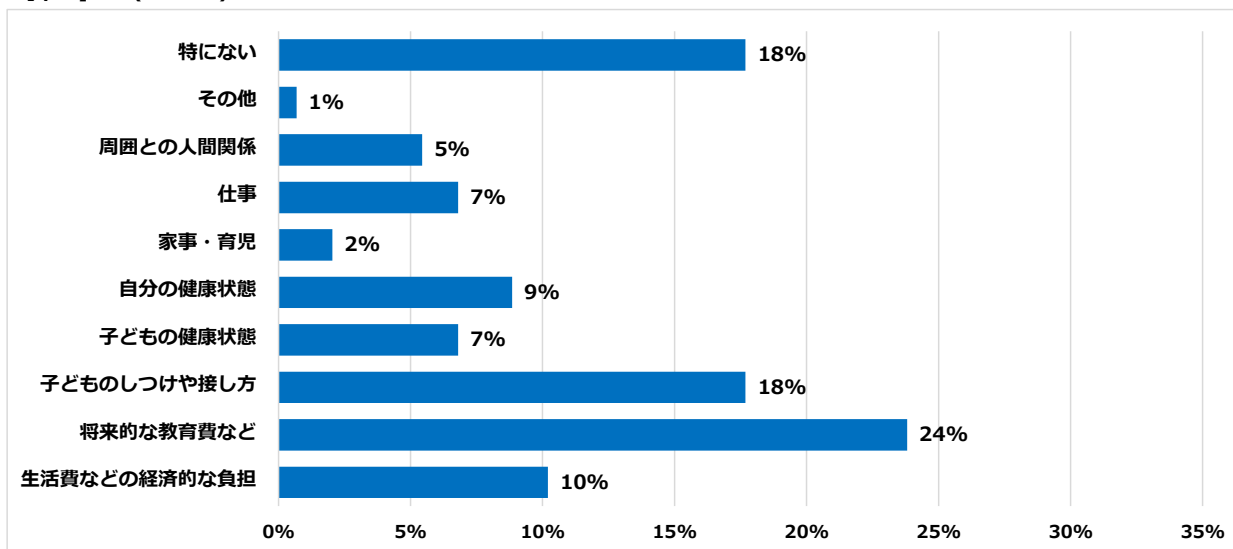
問18 あなたは、子育てなどについて、心配や悩み事がありますか。（複数回答）

【小5】（n=170）



【問18結果】小学5年生では、「将来的な教育費」が30%（51人）と最も多く、次いで「子どものしつけや接し方」が19%（32人）、次いで「生活費などの経済的な負担」が11%（19人）、「自分の健康状態」・「子どもの健康状態」・「仕事」がそれぞれ8%（13人）となった。

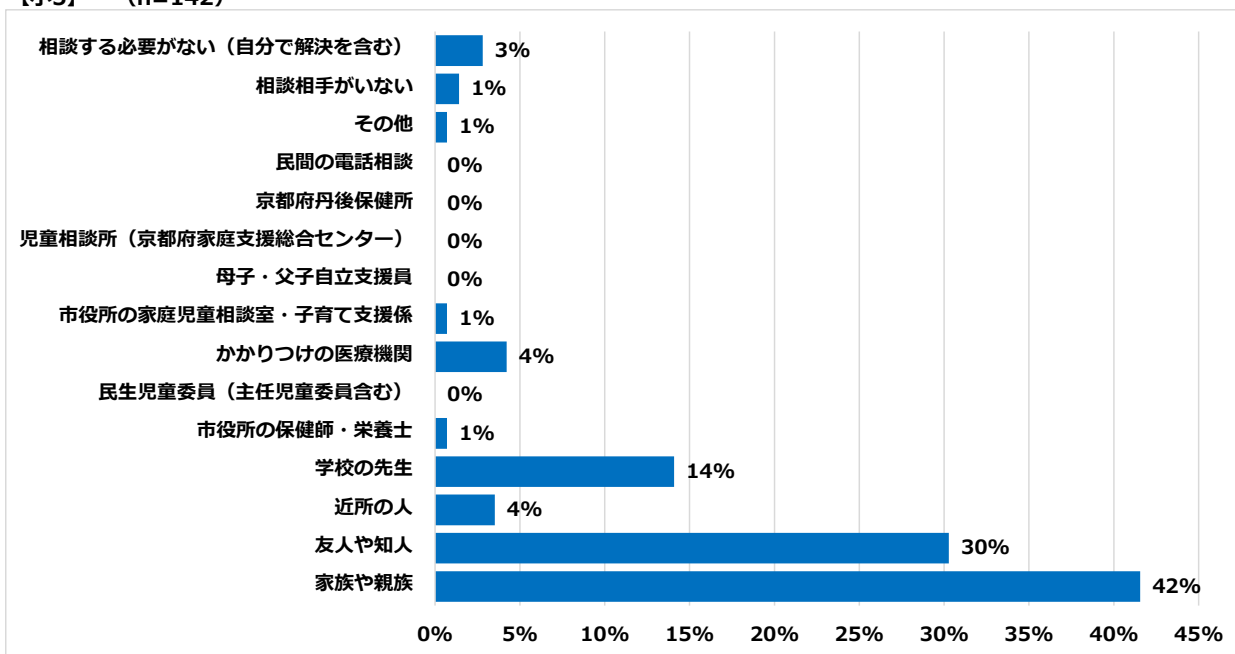
【中2】（n=147）



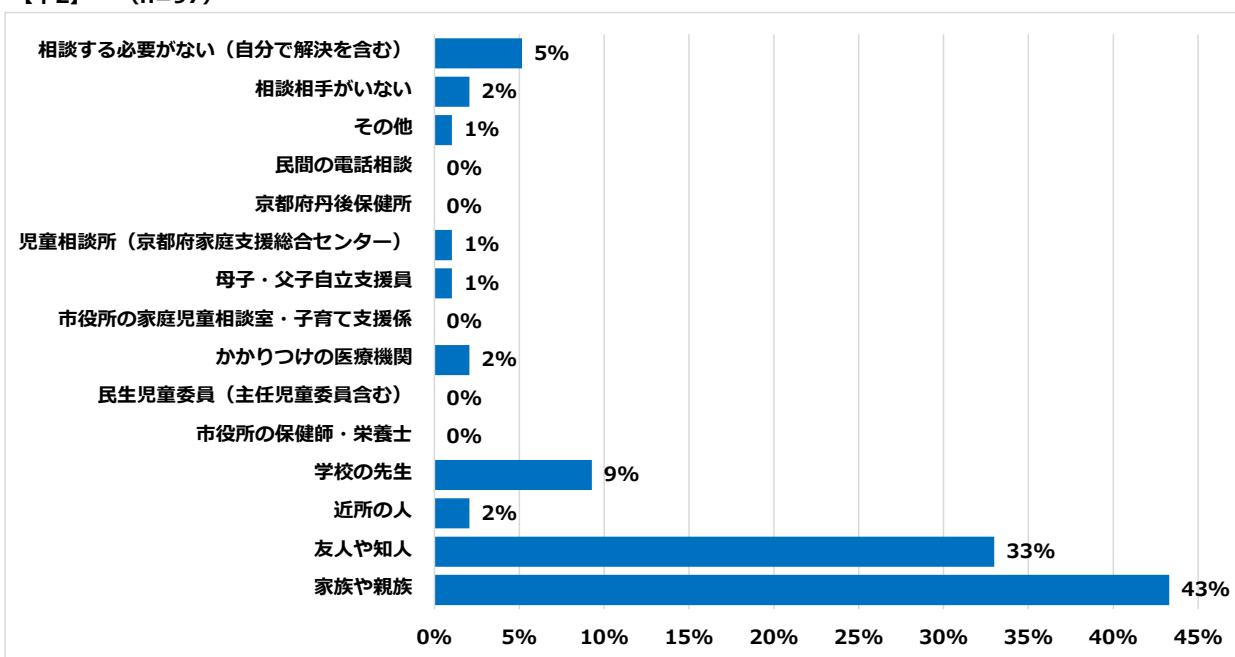
【問18結果】中学2年生では、「将来的な教育費」が24%（35人）と最も多く、次いで「子どものしつけや接し方」・「特にない」がそれぞれ18%（26人）、次いで「生活費などの経済的な負担」が10%（15人）、「自分の健康状態」が9%（13人）、「子どもの健康状態」・「仕事」が7%（10人）となった。

問19 あなたは、心配や悩み事などを誰に相談していますか。（複数回答）

【小5】 (n=142)



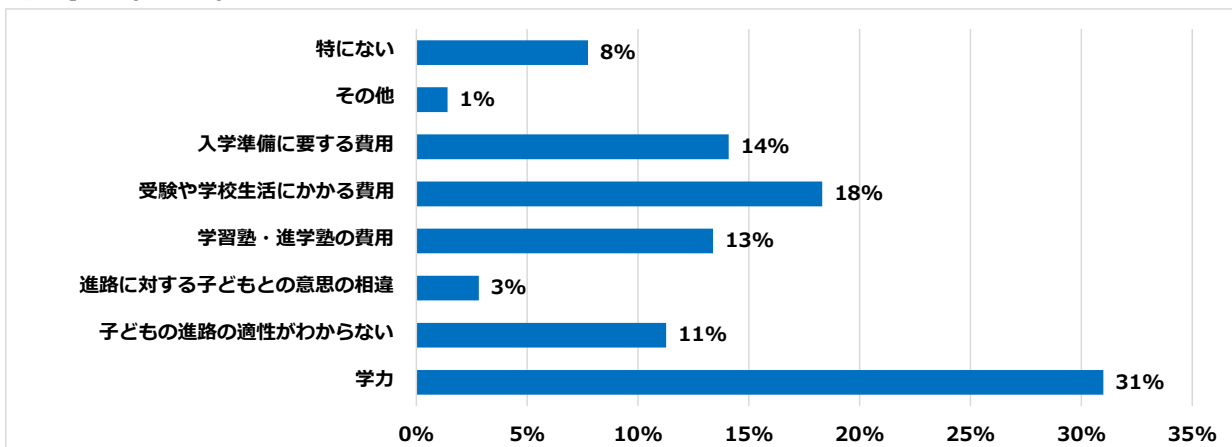
【中2】 (n=97)



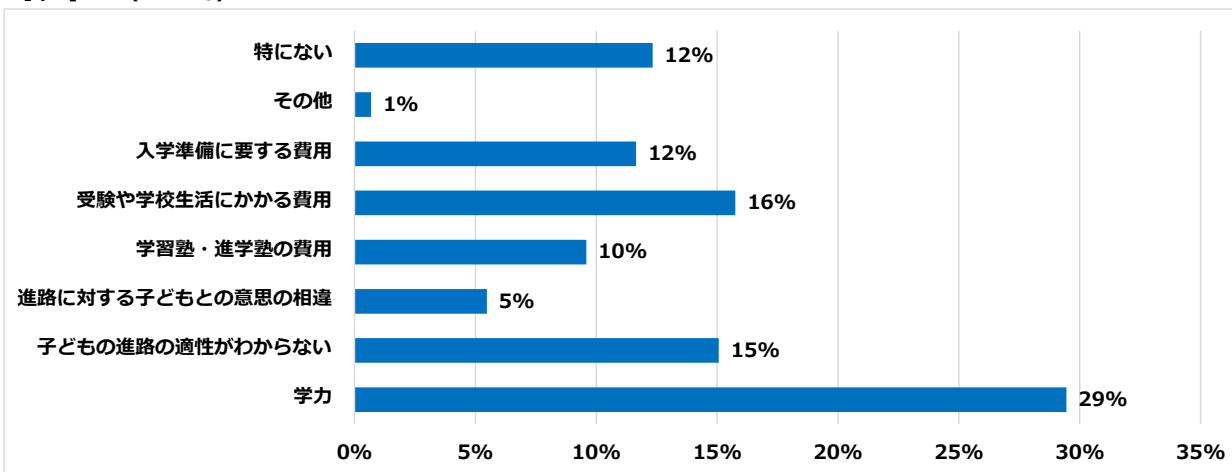
【問19結果】心配や悩み事の相談相手では、小学5年生・中学2年生の保護者ともに、「家族や親族」が最も多く、次いで「友人や知人」、「学校の先生」となっている。一方で「相談相手がない」では、小学5年生保護者は1%（1人）、中学2年生保護者で2%（1人）となっている。

問20 お子さんが今後、中学校または高校に進学するにあたり、不安に思っていることは、どんなことですか。（複数回答）

【小5】 (n=142)



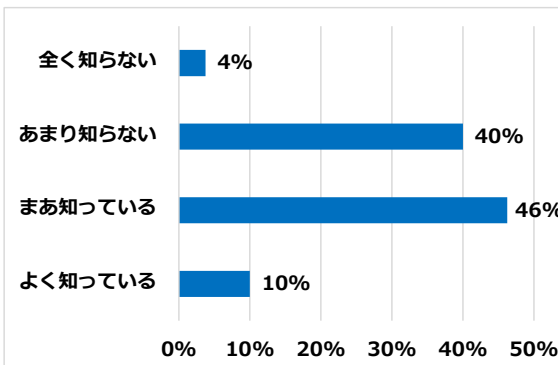
【中2】 (n=146)



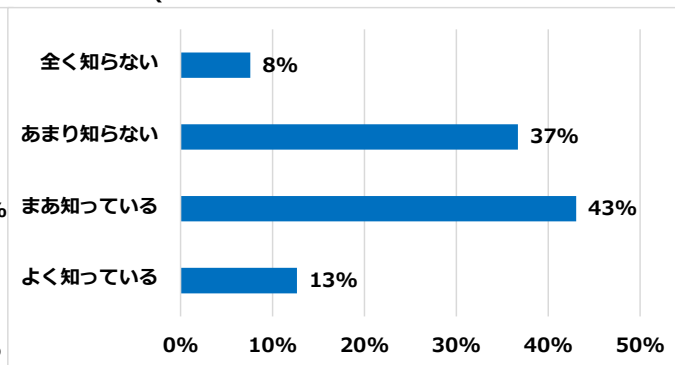
【問20結果】小学5年生保護者は「学力」が最も多く、次いで「受験や学校生活にかかる費用」、「入学準備に要する費用」、「学習塾・進学塾の費用」となった。中学2年生保護者は「学力」が最も多く、次いで「受験や学校生活に係る費用」、「子どもの進路の適性がわからない」、「入学準備に要する費用」・「特にない」となっている。

問21 高校や大学等へ進学するための奨学金制度について、知っていますか。

【小5】 (n=80)



【中2】 (n=79)

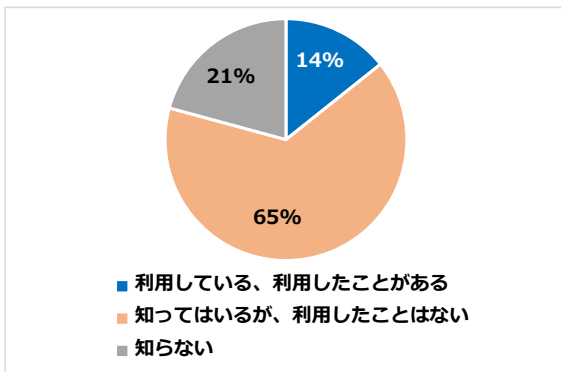


【問21結果】小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「あまり知らない」・「全く知らない」を合わせて約半数近くとなっている。

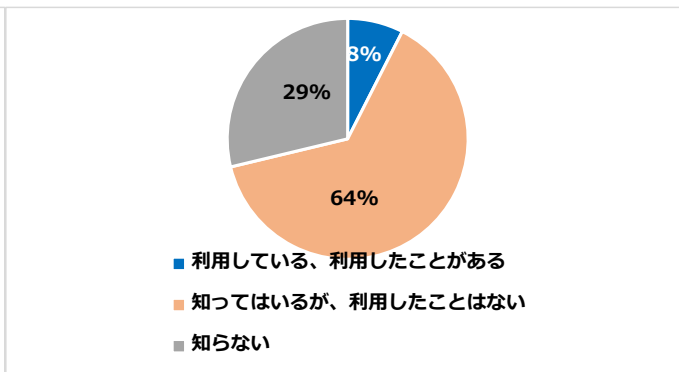
問22 あなたの世帯では、次のような支援・サービスなどを利用したことがありますか。

●市役所の保健師・栄養士の情報・相談事業

【小5】 (n=77)

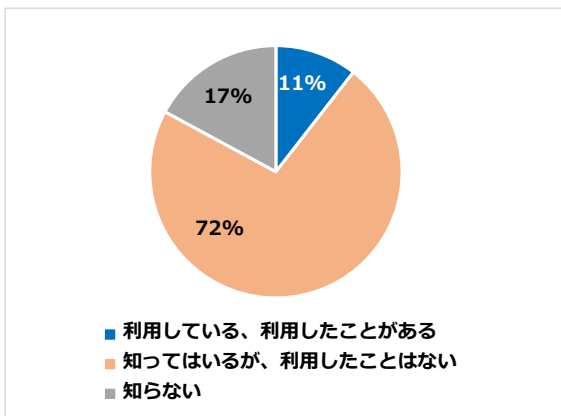


【中2】 (n=80)

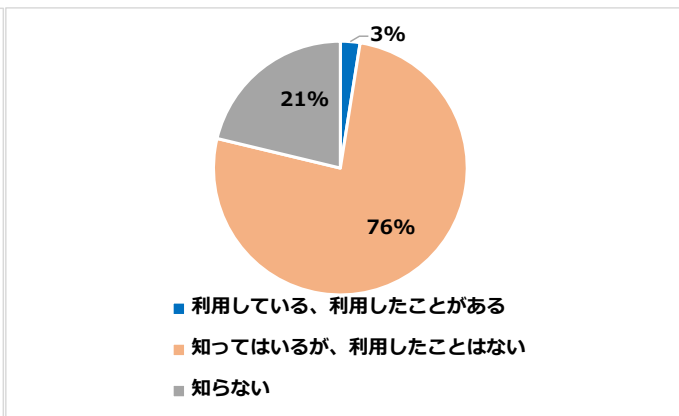


●市役所の家庭児童相談室・子育て支援係の家庭児童相談

【小5】 (n=76)

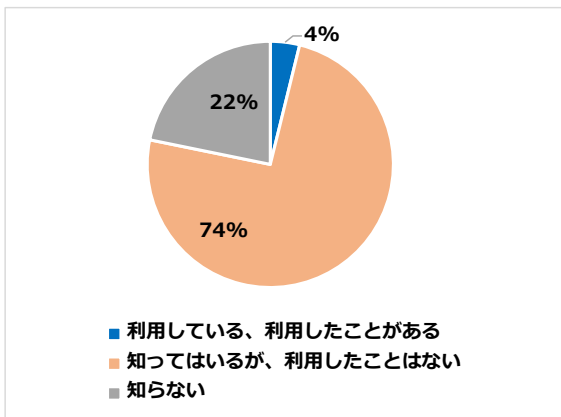


【中2】 (n=80)

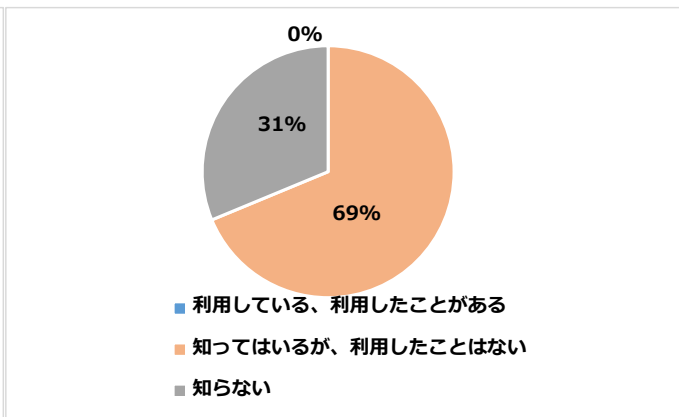


●ファミリー・サポート・センター

【小5】 (n=78)

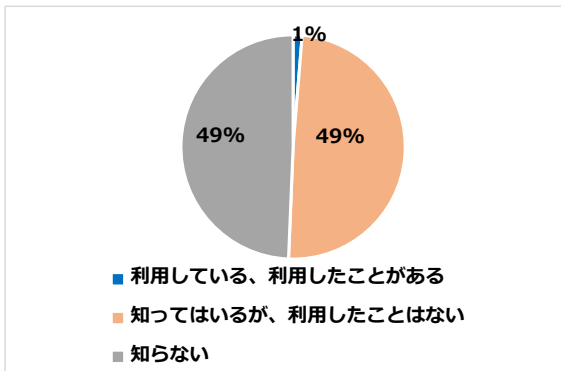


【中2】 (n=80)

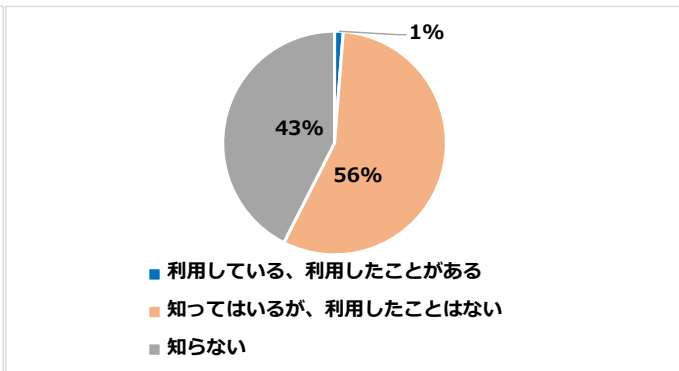


●社会福祉協議会の生活相談センター

【小5】 (n=77)

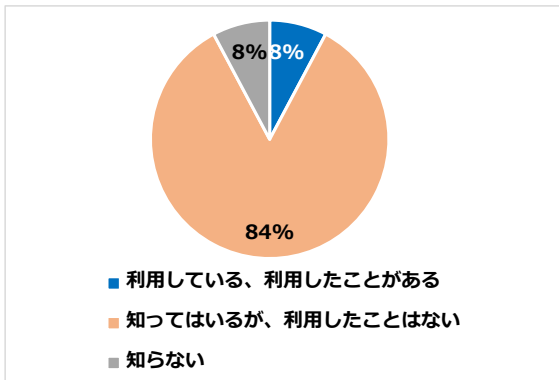


【中2】 (n=80)



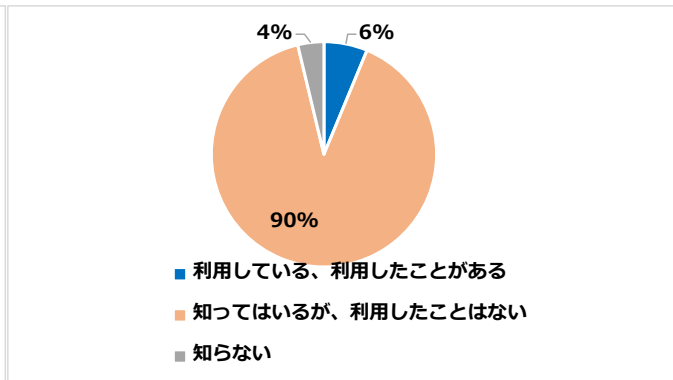
●スクールカウンセラー

【小5】 (n=77)



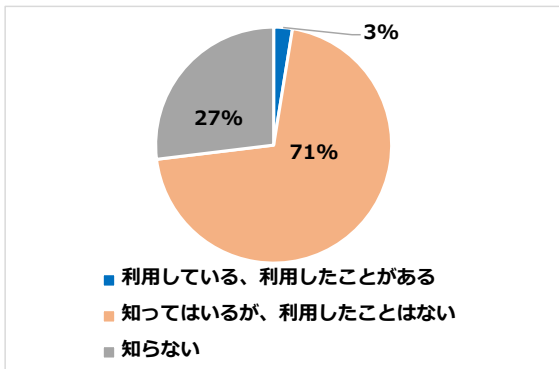
【中2】

(n=80)



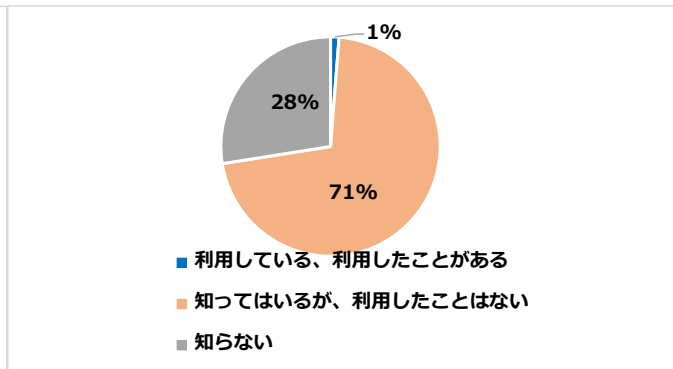
●スクールソーシャルワーカー

【小5】 (n=78)



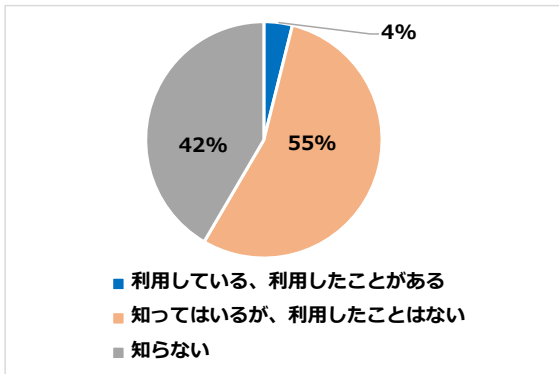
【中2】

(n=80)



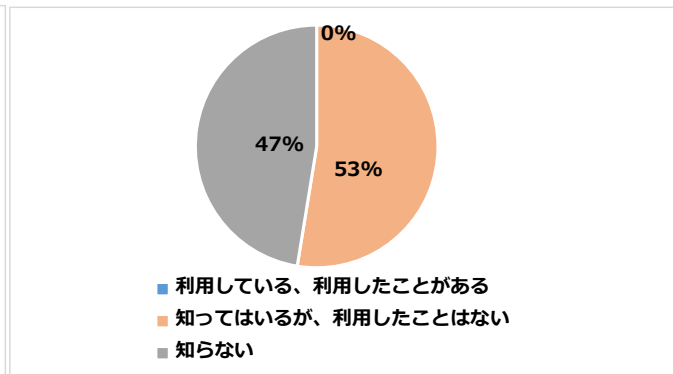
●母子・父子自立支援員

【小5】 (n=77)



【中2】

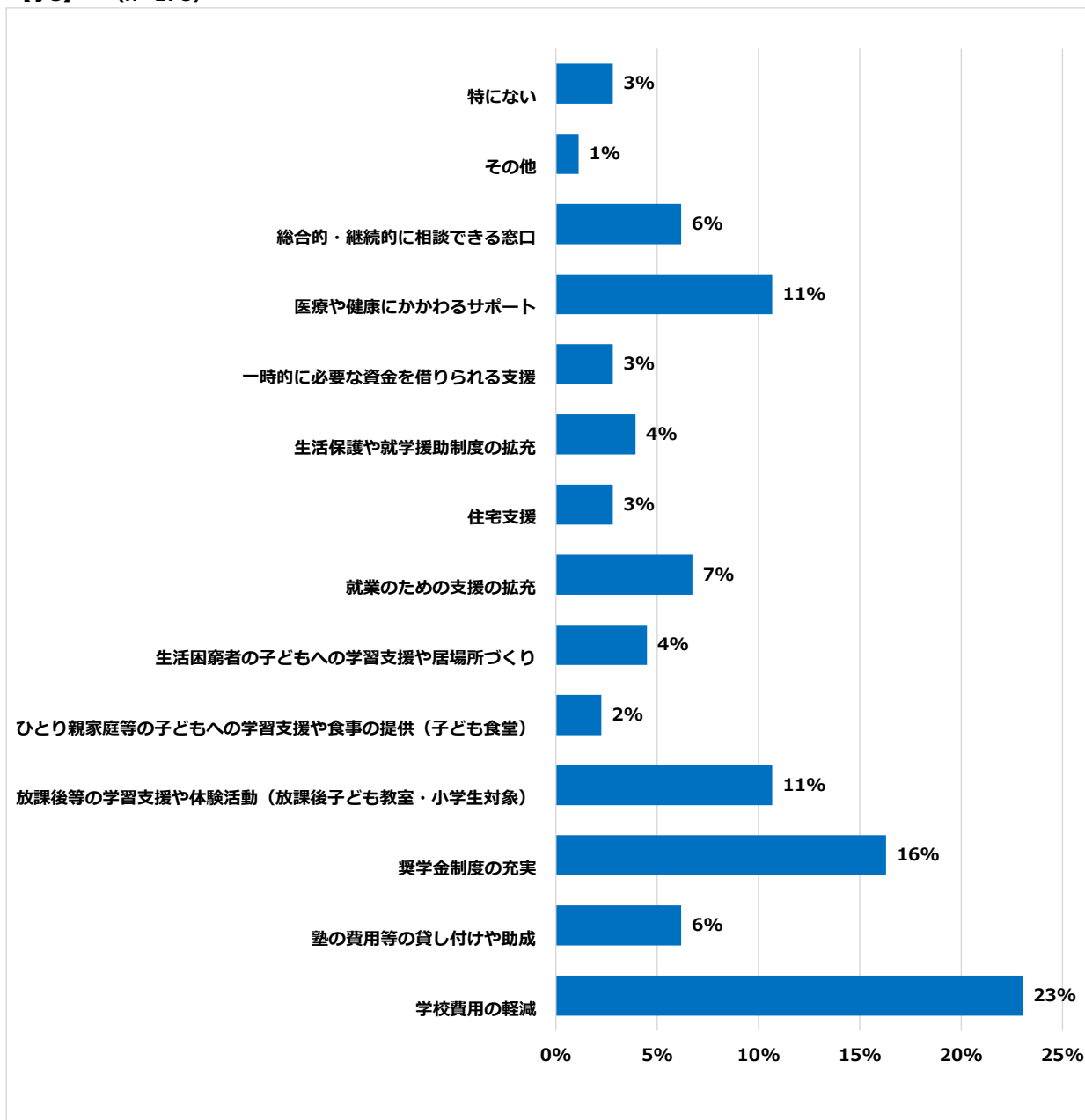
(n=78)



【問22結果】行政サービスの利用度では、ほぼ半数以上が「知っているが、利用したことはない」となる一方で、約2割から4割で「知らない」となっている。なお、最も利用が多かったものは、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「市役所の保健師・栄養士の情報・相談事業」であった。

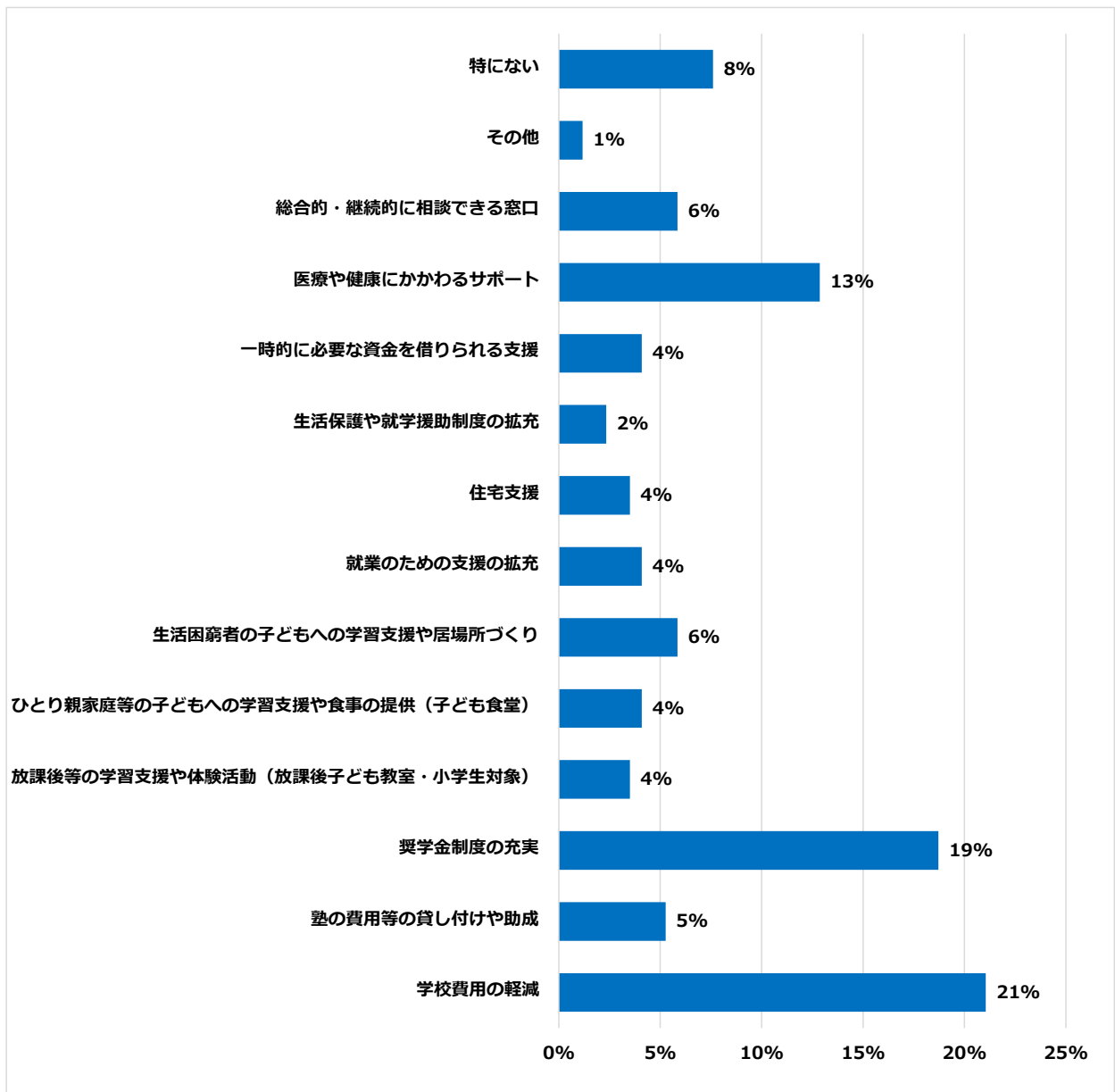
問23 あなたが必要と思う支援はどのようなことですか。（複数回答）

【小5】（n=178）



【問23結果】小学5年生保護者で必要と思う支援では、「学校費用の軽減」が23%（41人）とも最も多く、次いで「奨学金制度の充実」が16%（29人）、「放課後等の学習支援や体験活動（放課後子ども教室・小学生対象）」・「医療や健康にかかわるサポート」がそれぞれ11%（19人）となった。

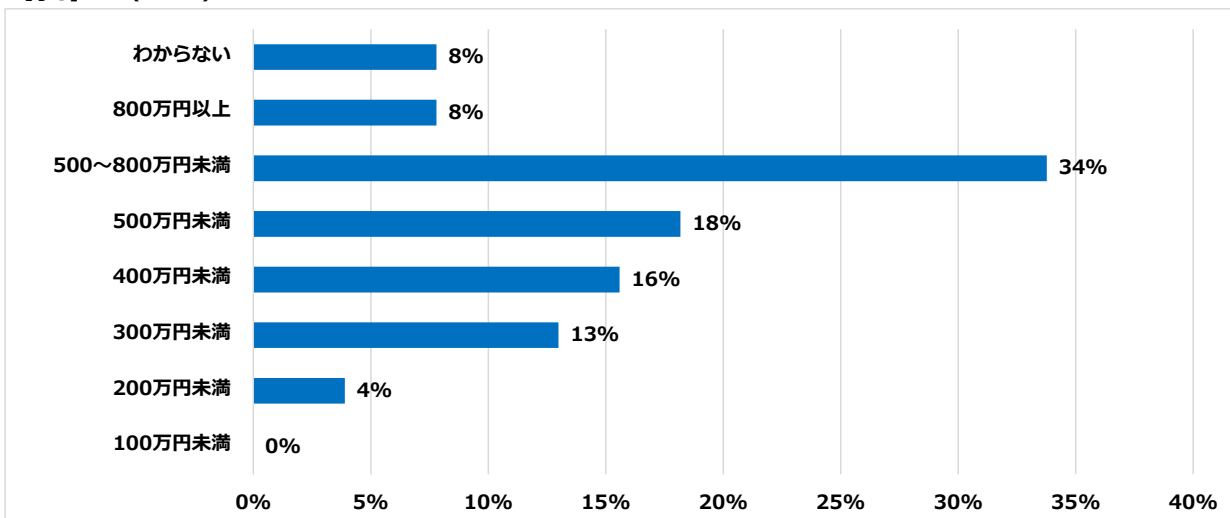
【中2】 (n=171)



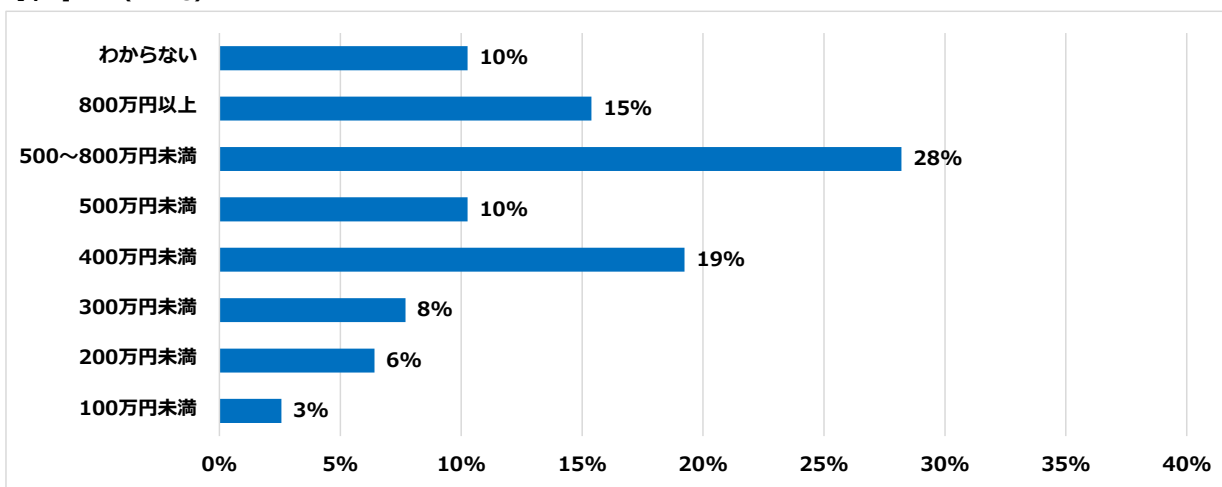
【問23結果】中学2年生保護者で必要と思う支援では、「学校費用の軽減」が21%（36人）とも最も多く、次いで「奨学金制度の充実」が19%（32人）、「医療や健康にかかわるサポート」が13%（22人）、「特にない」が8%（13人）、「生活困窮者の子どもへの学習支援や居場所づくり」・「総合的・継続的に相談できる窓口」が6%（10人）、「放課後等の学習支援や体験活動（放課後子ども教室・小学生対象）」・「ひとり親家庭等の子どもへの学習支援や食事の提供（子ども食堂）」・「就業のための支援の拡充」・「住宅支援」・「一時的に必要な資金を借りられる支援」がそれぞれ4%（7人）ほかとなった。

問24 生計を共にしているご家族全員の収入を合わせた「世帯の年間収入（税込み）」について、昨年（令和2年）はおおよそいくらでしたか。

【小5】（n=77）



【中2】（n=78）

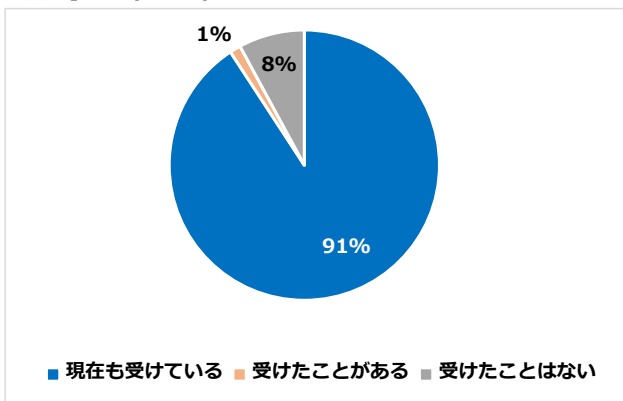


【問24結果】小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「500~800万円未満」が約3割と最も多くなった。一方で、「わからない」は小学5年生保護者で8%（6人）、中学2年生保護者で10%（8人）であった。

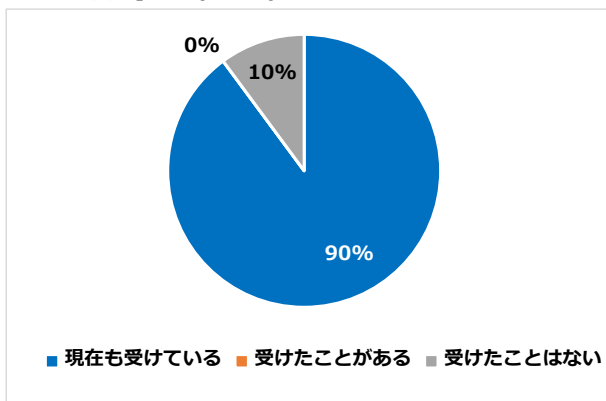
問25 あなたの世帯では、過去1年間に次のような手当や援助等を受けたことがありますか。

●児童手当

【小5】 (n=76)

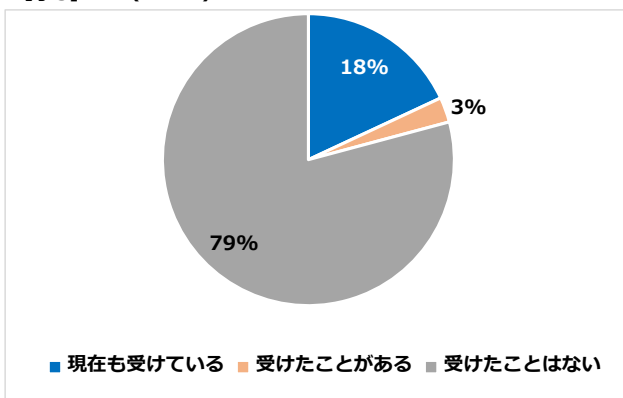


【中2】 (n=79)

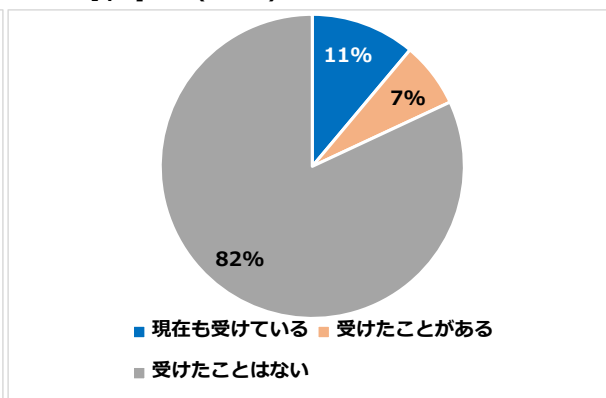


●児童扶養手当

【小5】 (n=72)

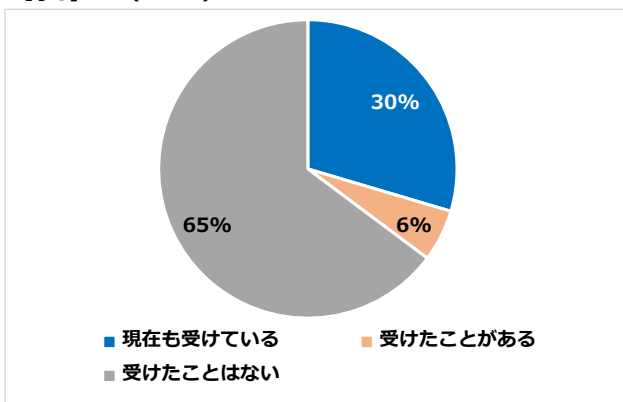


【中2】 (n=72)

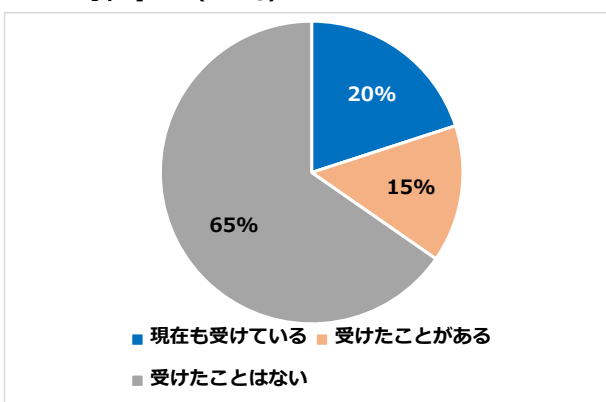


●就学援助

【小5】 (n=71)

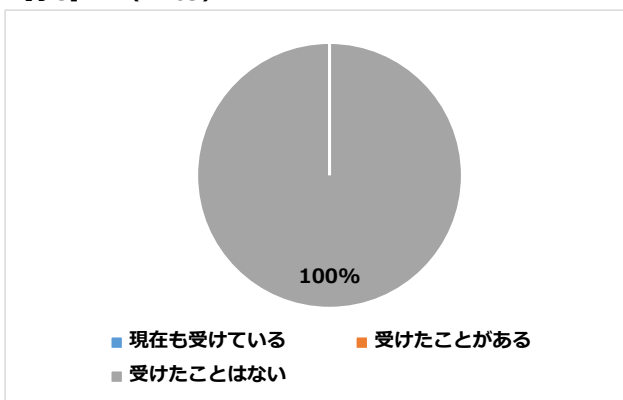


【中2】 (n=75)

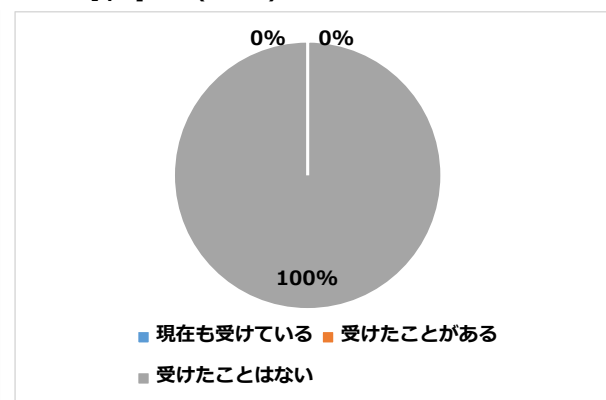


●生活保護

【小5】 (n=69)

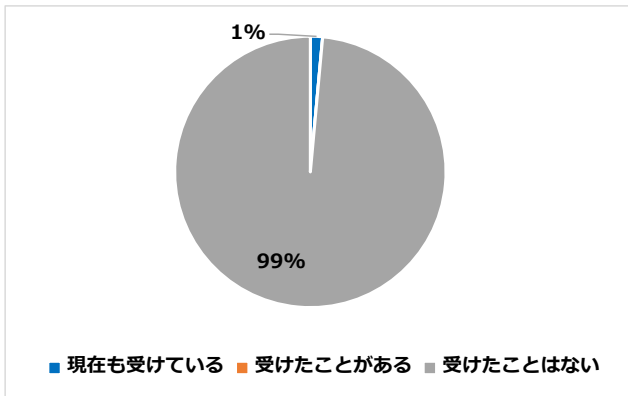


【中2】 (n=72)

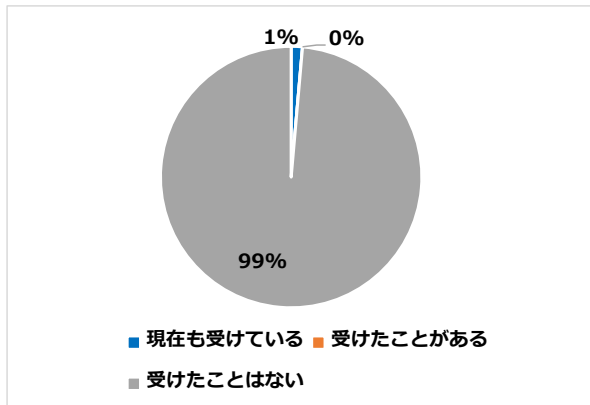


●母子父子寡婦福祉資金貸付金

【小5】 (n=69)

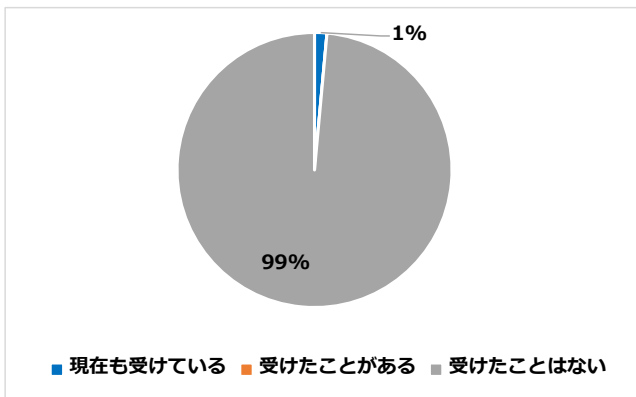


【中2】 (n=72)

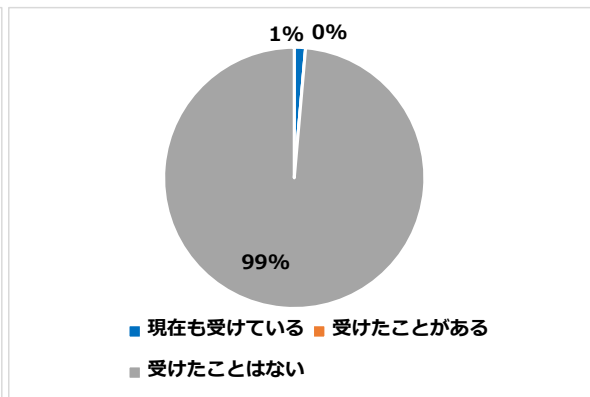


●生活福祉資金貸付金

【小5】 (n=69)



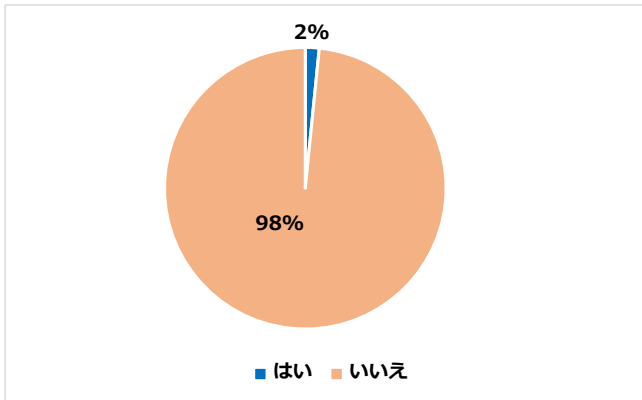
【中2】 (n=72)



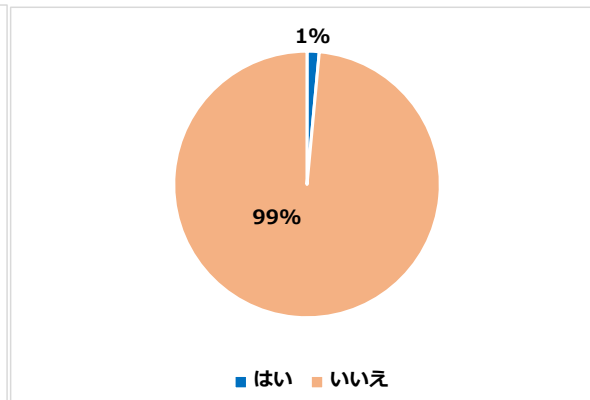
【問25結果】各種手当・援助制度の利用度では、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「児童手当」が最も多く、次いで、「就学援助」、「児童扶養手当」、「母子寡婦福祉資金」「生活福祉資金貸付金」となっている。

問25-1 問25で「現在も受けている」または「受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものですか。

【小5】 (n=63)

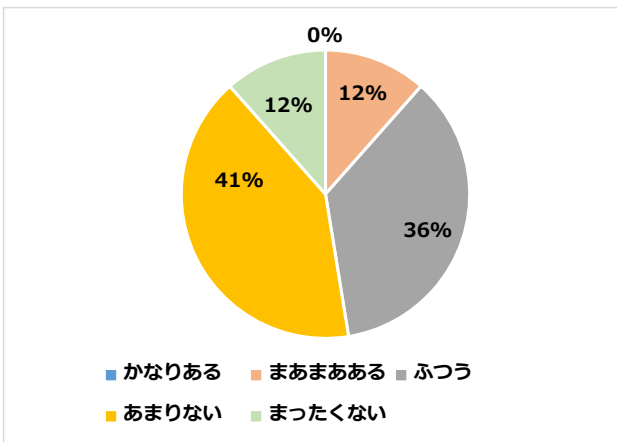


【中2】 (n=68)

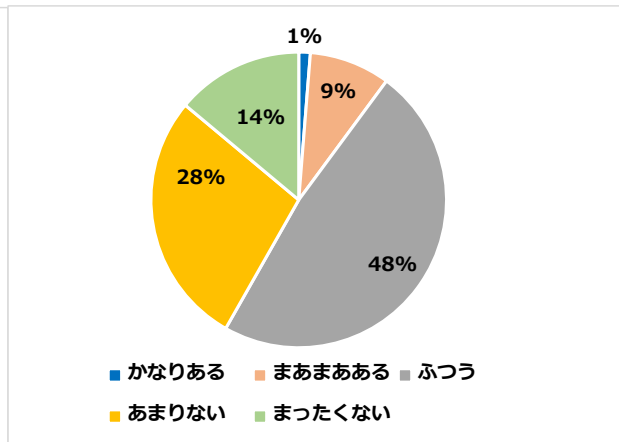


問26 あなたの世帯では、現在の生活に経済的なゆとりがありますか。

【小5】 (n=78)



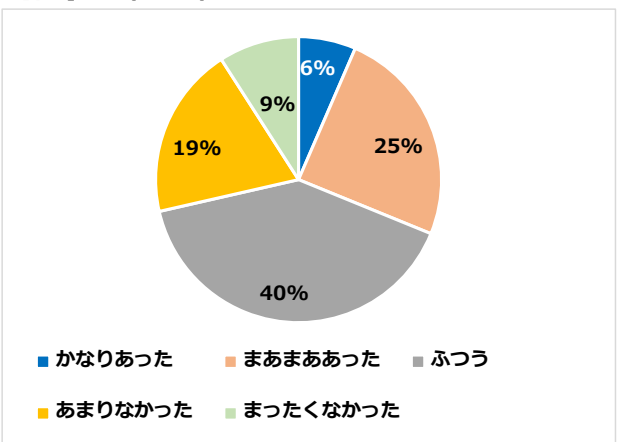
【中2】 (n=79)



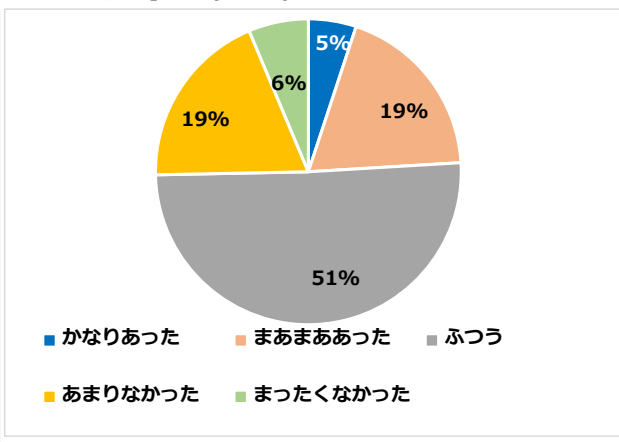
【問26結果】小学5年生保護者では、「あまりない」が41%（32人）が最も多く、次いで「普通」が36%（28人）、「まったくない」が12%（9人）となっている。中学2年生保護者では、「普通」が48%（38人）が最も多く、次いで「あまりない」が28%（22人）、「まったくない」が14%（11人）となっている。

問27 あなたが子どもごころ、生活に経済的なゆとりがあったと思いますか。

【小5】 (n=77)

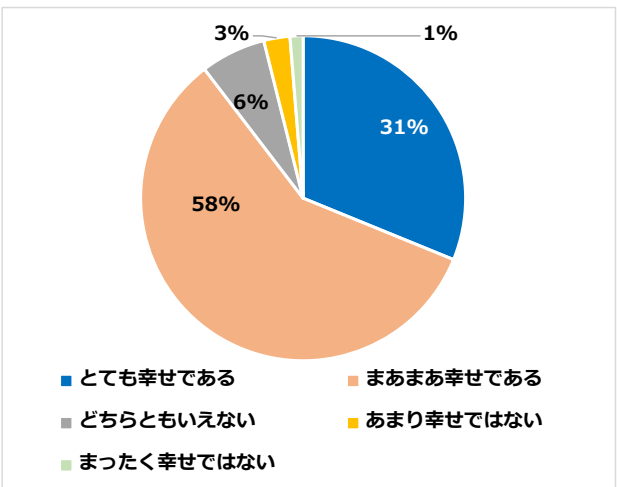


【中2】 (n=79)

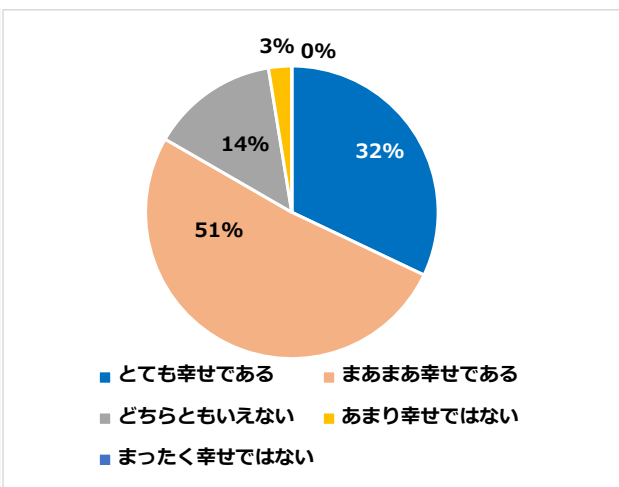


問28 現在のあなたは、ご自身が幸せだと思いますか。

【小5】 (n=77)



【中2】 (n=78)



【問28結果】小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに「とても幸せである」・「まあまあ幸せである」を合わせると8割となっている。一方で、「あまり幸せではない」が3割、小学5年生保護者のみ「まったく幸せではない」が1割（1人）となっている。

感想等

【小5】

●支援の必要な子の発見、手助けをしてほしい。

●市役所へ相談するハードルが高い。私は子どもが生まれた頃の健診などで関わりのある方（市役所の人）と、ずっと何かしら接点があり、話しやすく電話もかけやすいです。健診で最後になると、その後電話しにくいと思います。サポートが必要な子どもであったから接点をつなぐことができ感謝する反面、もし何のサポートもない子どもであったら市役所の方に話すことさえなかったかもしれないと思うと、相談を誰にできたらうと不安に思います。息の長いつながりをお願いします。サポートして下さる支援の方々の拡充をお願いしたいです。生まれてから今まで関わってくださり、ありがとうございます。どうぞこれからもよろしく願いいたします。本当に親身になって子どものことを考えてくださる支援員の方に感謝しています。

●保護者の生活レベルで子どもたちの可能性が育てられないのは良くないと思います。社会として教育を重視すべきだと思います。都会と違い豊かな環境や地域とのつながりなどメリットもたくさんあると思いますが、文化的なことへの参加（音楽・美術・演劇・芸能など）、機会が少ないと思います。学校教育への保護者の関心も差があるように感じますし、子どもたちがいきいきと楽しく好きなことを見つけて取り組める活動がもっとほしいです。習い事は費用もかさむし、送迎もあります。個人ですのではなく、放課後や長期休暇を利用して、学校や公民館などで気軽に通える色々な教室があればありがたいです。

●このアンケートをどのように生かされるのでしょうか。我々の生活が少しでも安定することに使っていただけたらと思います。

●高校生になってから、手当がない。

●このアンケートの背景には、経済的困窮な家庭があるのでしょうか？児童数も少ないので、そういうことであれば早急に支援の対応をしてあげてほしい。中学2年生なら高校進学まで時間がない。

●子育てと祖父（要介護3）と祖母（要介護4）の介護の両立は大変つらいですが、大きなけが、病気をすることなく子供達が成長してくれているので、それだけで十分かと思っております。

●子の医療費等は、近隣と同じようにしてほしい。宮津は近隣に比べ学力が低いと言われている。そこを改善できるように市として努力してほしい。9月大雨警報で給食なしで帰宅しました、給食を食べさせる、させずに帰宅、どちらが正しいのかはその時の状況にもよりますが…。残った給食が捨てられるのか、翌日にまわされるのか、出会った保護者は皆気にしていました。捨てるようなことだけは、やめてほしいと思います。

●毎月、督促ばかりで死にたくなります。子どもを連れて死ぬべきかと思ったこともあります。お金を借りても返せるかわからない。不安な未来しかありません。

●我が家は多子世帯です。子どもたちには目的をもって進学できれば手に職をつけてほしいですが、全員が望むように望む教育を受けさせることはできないのではないかと考えています（経済的理由から）。ひとり親や生活困窮世帯への支援はありますが、子どもが多い世帯への支援も考えてほしいと思います。

●祖父母と同居のため、生活面での援助（金銭的なことではない）があり、特にコロナ禍では親が仕事へ行かなくてはならない時でも助かりました。ファミリーサポートセンターの支援制度もありますが、まかせて会員がないなど、（登録者）有償ボランティアでは対応できないこともあります（地域によってバラつき）。他には学校費用は就学援助で認定されれば費用面では助かりますが、対象とならない家庭もあるため、せめて学校給食費は無償にしてほしいと思います。

●両親、共働き（父母正職）ですが、母親がパートの収入だと、生活が苦しく、パートでの収入ではやっていけないから正職になりましたが、両親正職になれば税金等の支払いが増え、手取りを考えると、パートで就学援助を受けている家庭をとてもらうやましく思う。両親共働き＝裕福とは限らず、このコロナで母子家庭だから、低所得だから助成金を受けれます。は必死に働いている母からしたら違うだろう！！と思う。共働きで子どもが多い家庭もとても大変です。納得いかないことは多々ありますが、頑張るしかないので、頑張ります。

●高校、大学進学時に、成績が優秀な人に支援してあげられるような宮津市の制度があれば、勉強を頑張れる生徒もいると思う（学力やスポーツ等も）。頑張っている人を支援できる制度があれば、あきらめずに進学できると思います。

●小学生の間は、学校の費用等少ないですが、中学生、高校生になると制服やカバン、くつ等色々購入すると経済的にキツくなってくると思います。（これから）

●宮津市内においても生まれ育った場所での格差を感じる。行政のサービスが中心部しか充実していないように感じる。設問内容の改善を求める。子どもにもこのような内容が聞かれているのだとしたら不自然。親としては不愉快。

●頑張っている人、お金をかせぐほど比例して、母子手当などが直ぐに減ってしまうので、結局、総合的な手取りは変わらず、時間的、体力的につらいだけ。あまり働かない人と、頑張っている人と変わらない。それを考えて、減らないであろうギリギリのところをねらって、働く量を減らすとか変じやないですか？頑張りたい気持ちはあるのに。

●なぜ5年生と中学2年生へのアンケートなのか・・・？

●ファミリーサポートセンターなどの支援サービスがあった事を知らなかったので是非登録したいと思います。また、児童手当についても本当に助かっています。学資保険等とは別で子どものためだけに貯める・使えるお金がある事は、この現状で必要不可欠です。ありがとうございました。

●子どもの医療費に関して、中学卒業までは受診にあまり費用はかからないが、一番高校生になってからのの方が、病院へ行く機会が多くなる事があると思い、医療費が大人と同じ3割負担になり厳しくなると思います。

●個人が感じる幸せや、子どもへの期待と不安、家庭の状況と、行政への要望は別物である。よりよい施策へ繋げるためには、子どもに係る全ての費用を無償化し、平等な環境の中で、よりよい教育を行うことが第一優先である。このアンケートは個人の価値観を知る内容が多いと感じる。子育て支援の充実のため、教育の充実に施策を工夫してほしいと思う。

●自分があたり前だと思っていたことなども、大人・子どもの質問にあり、子どもの貧困が問題になっている現在、とても悲しいことではありますが、必要な質問なんだろう・・・と家族で話していました。こういったアンケートがなくても、子どもたちが満たされる家庭、社会であれるよう、自分も努力が必要だと感じました。

【中2】

●問23(あなたが必要と思う支援)で必要と思う支援の項目で、放課後等の学習支援というのが小学生対象となっていたが、中学生の学習支援は塾に各自で行くべきとも取れると思った。無料又は低額の学習支援があれば利用したい。(中学校でも要望したが、難しそうのため)

●本当に困っている人達のためになればいいです。

●2019年に主人が仕事の関係で海外勤務になり、コロナのせいで年に2回の帰国もできず、母一人で中2、高2の世話をしています。二人で世話をしていたのが、一人でするのも限界があり、今年病気をしてしまい、大変でした。ただ、周りの方々に助けてもらい何とかやっている日々です。このようなアンケートで、こんな話を書いたのは初めてですが、読んでいただける人がいるだけで、私はうれしいです。自由に書かせていただきました。ありがとうございました。

●低所得者でなくても、家族の負担をかかえて生活が苦しい家庭は多くあるので、共働きでも負担は多いことを知ってもらい、支援していただきたい。

●最後の自身が幸せかと問われたのが、意外だった。考えてみると家もあり仕事もあり多少不健康でも、子どもの学校生活に悩みがあっても日々の生活が成り立っているので「1. とても幸せである」に丸をつけました。

●子どもの生活状況というより、親の子育てチェックの印象が強い。支援・サービスの利用についてアンケートがあった（問22）。一見たくさんあって便利そうに見えるが、本当に専門性がある解決できる場所なのか、どこが責任を持って対応いただけるかわからない。必要になったら、どこかに聞いて協力いただくようにします。

●少数かもしれませんが、不登校の子どもやその家族への支援と、きめ細やかな対応をさらに充実させてもらいたいと思います。不登校の子どもやその家族の抱えている問題は、一人一人違うので、それぞれに合った対応ができる支援が必要と考えます。特に当事者やその家族にとって学習の遅れは大きな問題の一つかと思います。その辺は、ひとりひとりのケースに合った対応を考えていただきたいと思います。